

《新発売》

NEW DT125R

ブラック J O G スペシャル

FZ250

ニューカラー
PHAZER

特集 この夏こそ、お店のファン、ヤマハファンを増やそう!



よりレーシーに、走り・スタイルを一新
YPVS装備

NEW DT125R 新発売

●カラー…スカイブルー、ホワイト/ファイヤーレッド
●標準現金価格…27万8千円(北海道、沖縄は5千円高)

125ccトレールの雄・DT125Rが、3年ぶりにモデルチェンジ。エキサイトینگ・スーパートレールDT200Rと共通コンセプトのもとに、クラス最強のポテンシャルを備えて新登場。ニーズの多様化が進むトレール市場の基盤をしっかりと確保します。



ニューDT125Rの主な特徴

YPVSでクラス最高22馬力のハイパワーと扱いやすいフットワークを実現

先進のヤマハ2サイクル・テクノロジーYPVSの採用、エアクリナーの大型化などにより従来モデルより4馬力アップ。クラス最高22馬力のハイパワーを発揮します。

また、エンジン回転数に応じて可変式に作動し、つねに理想的な排気タイミングを得るYPVS効果と電子進角式CDI点火が相まって、低中速から高速まで回転全域でトルクアップを果し、きわめて扱いやすい出力特性となっています。

さらに、ラジエターもDT200Rと共通としてハイパワーの持続性を高めたほか、エキゾーストパイプもDT200Rと同様に三層ニッケルメッキを採用して防錆効果を向上させています。

一段と強化した前後サスペンション

大幅なパワーアップにあわせて、前後サスペンションも一段と強化しました。セミエア式フロントフォークは、インナーチューブを大径化すると同時に

DT125R仕様諸元

- 全長2140mm ●全幅820mm ●全高1185mm ●シート高845mm ●軸間距離1360mm ●最低地上高285mm ●乾燥重量98kg ●舗装平坦路燃費59km/ℓ (50km/h) ●最小回転半径2.2m ●制動停止距離8.5m (35km/h)
- 水冷・2サイクル・ピストンリードバルブ単気筒・123cc ●内径×行程56×50mm ●圧縮比6.8:1 ●最高出力22ps/8500rpm ●最大トルク1.9kg-m/8000rpm ●始動方式キック式 ●オイルタンク容量1.2ℓ ●燃料タンク容量10ℓ ●キャブレターV M26 S S ●点火方式CDI ●点火プラグB R 8 E S、W24 E S R-U他 ●バッテリー12V3A h ●1次減速(比)ギヤ(3.227) ●2次減速(比)チェーン(3.312) ●リターン式6段変速 ●変速比①3.500②2.214③1.555④1.190⑤1.000⑥0.840 ●フレーム高張力鋼管セミダブルクレードル ●キャスト28" ●トレール112mm ●タイヤ(前)2.75-21-4 P R (後)4.10-18-4 P R ●ブレーキ(前)油圧式ディスク(後)ドラム ●懸架方式(前)テレスコピック(後)リンク式モノサス ●緩衝方式(前)オイルダンパー+エア+コイルスプリング(後)ガス+オイルダンパー+コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)240mm(後)210mm
- ヘッドランプ12V 35W 35W(ハロゲン) ●テールランプ12V 5W ●ストップランプ12V 21W ●フラッシュランプ12V 23W ●各種パイロットランプ類12V 3.4W

ストロークもアップ。リヤのリンク式モノクロスサスペンションにもスプリング・イニシャル調整機構を追加。またリヤアームも角パイプ型として剛性アップを図っています。

オフロード専用フロント・ディスクブレーキの採用

フロントにはDT200Rと同様に、軽量ディスクブレーキとセミメタルパッドの組合わせで強力な制動力を発揮するオフロード専用ディスクブレーキを装備。もちろん、泥の浸入や石打ちを防ぐディスクカバー付です。

オフロードのグリップ性、走破性にすぐれたニューロックパターンタイヤ

タイヤは前後ともDT200Rで開発したニューパターン。リムも軽量・高剛性の中空アルミリムを採用しました。

10 且に容量アップして行動半径を広げた燃料タンク

12 V35W/35W、暗い林道でも十分な明るさのハロゲンヘッドランプ

ピレリ・ニューファントム装着のスペシャルバージョン

ブラックJOGスペシャル 新発売

●カラー：グリタリングブラック/コンペティションイエロー ●標準現金価格：11万5千円（北海道、沖縄は3千円高）

発売2年で50万台突破！スクーターのニュースタンダードとして完全に定着したJOGに、スポーティなスペシャルバージョンの新登場です。スーパースポーツなみの高級仕様で固めた強力な足まわり、ブラックとイエローの鮮やかなコーディネート——この夏もJOGが、ヤングスクーターユーザーの話題を集めます。

ブラックJOGスペシャルの主な特徴

1..2..75前後タイヤに、イタリア・ピレリ製ニューファントム・パターンを標

- 1..2..75前後タイヤに、イタリア・ピレリ製ニューファントム・パターンを標準装備。スーパースポーツと同一パターンでロードグリップ力を高め、コーナリング性能を大幅に向上させています。もちろん前後とも4PR。
- 2..高性能タイヤの採用にあわせて、フロントフォークのパネ定数をアツプ。リヤにはアクティブで好評のガスکشションを採用して足まわりを強化しました。
- 3..質感をきわめたグリタリング・ブラックカラー
- 4..新鮮なブラック&イエローのカラーコーディネート。ボディからリアスプリング、マスコットキーに至るまで徹底。



本格的MOTO-4 YF60 新発売

ジュニア（体重40kg以下）向けに開発した本格的MOTO-4「YF60」を6月10日より新発売しています。

3.5馬力・60cc・2サイクルエンジンとシャフトドライブのパワートレインを持ち、独得の超低圧チューブレスタイヤで本格的なバギー走行をはじめ、さまざまなオフロードライディングを楽しめる「YF60」。

有力見込客となるジュニアライダーの育成に、活動的なファミリーユーザーの新しいスポーツツールとして、またお店のマスコットに……と活用法ももりたくさん。ご商売の幅を大きく広げる新商品です。

●カラー：スカイブルー ●標準現金価格：14万9千円



FZ250 PHAZERにニューカラー追加!

人気沸とう中の4サイクル・スーパーフォーター「FZ250フェーザー」に、精悍なブラックカラーが追加されます。これによりフェーザーは、シルキーホワイト/レッド、シルキーホワイト/ブルーとこのニューヤマハブラックの3カラー。どうぞお客さまにあわせて、おすすめください。

さわやか

に夏のスクーター商戦をリード Cute:ニューテレビCF オン・エア



キュートの新しいテレビCFが、初夏のお茶の間にさわやかな話題を提供しています。あふれる緑の中で、キュートとキャラクターのタラ・フィッツパトリックの姿もすがすがしい湖篇。

北海道から沖縄まで、全国でスポット放映される他、ヤマハ提供番組『月曜ロードショー』(TBS系、月曜午後9時)でもオンエアされています。また、このテレビCFと同一イメージの雑誌広告も、6月～8月発売の『クロワッサン』『J.J.』の女性誌2誌を通じて展開しています。

さらにこのキュートとあわせてトライ、ボクسن、ニューJOGなどスクーター各機種のマス広告活動も、多くの媒体をミックスさせながら活発に展開中です。

こうした一連のマス広告活動と連動した、夏のスクーター・セールを、お店でもどうぞご計画ください。

君は、毎朝生まれ変わるんだね。
ヤマハ キュート



もうご利用いただいていますか? ヤマハ・スポーツバイク・キャンペーン

夏のスポーツバイク商戦を盛り上げる恒例のヤマハ・スポーツバイク・キャンペーンがスタートしています。おなじみのモーターサイクル・マガジン『55mph』の発行とあわせて、とくに今年は『55mphオリジナル・グッズ』も製作、みなさまのご商売によりご利用いただきやすくなっています。夏の特別セールや、お店のスポーツ活動のプレミアムとして、どうぞご利用ください。

55mphオリジナルグッズ

Tシャツ(文字色・赤と青の2種)、バッジ、ステッカー



55mph・Vol5

巻頭のスペイン特集をはじめ、充実の100ページ。55mphバックナンバーもあわせてご利用ください。



55mphビデオ

55mphマガジンのスペイン特集と共通イメージで製作した、"シングルロード・イン・スペイン" 光り輝くスペインを走るSRX600。店頭BGVとしてご利用いただけるよう10分の内容を3回リピートで収めています。





2台のFZR750で8時間に挑むヤマハライダー。右から上野、河崎、ケニー、平、長谷川の各選手



つめかけた記者団の前に、静かな口調で1年ぶりのレース出場への抱負を語るキング、ケニー

ケニー・ロバーツ、平忠彦コンビ FZR750で8時間耐久レースに出場！

初めての経験だが、マシンに対しては信頼しているし、日本のナンバーワン・平選手と一緒に出場できることも本当にうれしい。こんなチャンスを与えてくれた資生堂はじ

7月28日、午前11時30分、世界中の注目を集めて、8時間に渡る熱戦の火ぶたが切られます。どうぞご声援ください。

関係者の方々に心からお礼をいいたい。そして、変らぬ声援を送ってくれる世界中のファンの期待にぜひ応えたいと思っています。

「キング」ケニー・ロバーツと全日本チャンピオン平忠彦の夢のコンビが、ついに実現。FZR750を駆って7月28日に三重県・鈴鹿サーキットで行なわれるわが国最大のモータースポーツイベント「世界耐久選手権第3戦鈴鹿8時間耐久レース」に出場します。

このうち、ケニー／平組には、化粧品メーカー(株)資生堂がチームスポンサーとなり、平選手がすでに広告キャラクターとして活躍している「テック21(ツーワン)」チームとしてエントリー。あわせてビジネス機器のブラス(株)が、ケニー／平、上野／河崎の両

参加チームは
▼K・ロバーツ／平忠彦組(ヤマハ・テック21チーム)
▼上野真一／河崎裕之組(チーム・レーシングスポーツ)
※補欠ライダー・長谷川嘉久

ケニー／平、テック21チームで出場

この数年、急速な勢いで人気を高めるモーターサイクルスポーツ。その最大のイベントとして20万人を超える観客を動員する8時間耐久レース「ヤマハレーシングチーム」は、この一大レースに最強の布陣で参加し、内外のファンの期待に応えようというものです。

このビッグニュースは、6月8日、全日本選手権第6戦・鈴鹿200キロロードレース大会が行なわれた鈴鹿サーキットにおいてモータージャーナリスト約1000名を集めて開かれた記者会見で正式に発表されました。

世界中のファンの期待に応えたい！

つめかけた報道陣の質問に答えて、ケニー・ロバーツ選手は、「一年以上ぶりのレース復帰に対する抱負を、次のように語りました。」

「7月14日、ラグナセカ(カリフォルニア)にYZR500で出場してから、この鈴鹿8時間に臨むことになる。耐久レースは初、チームをバックアップすることになってい

特集

この夏こそ、お店のファン、ヤマハファンを増やそう！

新規から代替へ、いまお客さまの主体も大きく変わろうとしています。それだけに、お店とお客さまの結びつきが、今後のご商売を大きく左右するものになるのです。

お店のファンづくり、ヤマハファンづくりこそ、これからのご商売のカギ。そして、この夏こそは、さまざまな活動を通じて、お客さまのお

店に対する意識を高め、ファンをつくる絶好のチャンスです。

85ニューモデルが好調だから、そんなことまで…… などとおっしゃらず、いまこそより堅実なご商売の基盤、お店のファンづくりに取り組みましょう。

ファンづくりに最も強力なパワーを発揮するのは、お店のスポーツ活動をはじめとする充実したサービスの提供。そのためにヤマハでは昨年の秋から「YESSS」を結成、全国的なスポーツ活動の盛り上げをはかってきました。そして、そのメインイベントともいえる恒例のヤマハ・サマーフェスティバルが今年も全国8ブロック・7会場で大規模にくりひろげられます。

YESSSが活動を開始して初のサマーフェスティバルを通じて、どうぞお店でもファンづくりを強力にご推進ください。

YESSSがつくるデツカイ夏 85ヤマハ・サマーフェスティバルで お店のファン、ヤマハファンを増やそう！

北海道

- 主催 北海道ヤマハ㈱／道新スポーツ
- 後援 留寿都村、加森観光㈱
- 月日 8月3(土)、4(日)
- 会場 虻田留寿都村・ルスツ高原モトクロスコース (特設カートコース)

M.F.J全日本選手権モトクロスでおなじみの雄大なルスツ高原モトクロス場を会場に、楽しいイベントがめじろおしのサマーフェスティバル・イン・北海道。中でもお客さまの話題を呼んでいるのは、昨年も人気を集めたスクーターの5時間耐久レース。今年も日航杯をかけて、4日午前0時のスタートです。

COMPACT

ヤマハ招待選手によるモトクロスおよびトライアルスクール、前夜祭/コンサート、ギヤルコンテスト、オークション、お楽しみ抽選会、盆踊り大会、キャンプファイアー、日航杯5時間スクーター耐久レース。

COMPACT

ツーリングクイズラリー、BMX、チャレンジトライアル。札幌ヒグナードトライアル第4戦。道新スポーツ杯モトクロス。SL杯モトクロス。PWレース。トライモト。スクーター耐久モトクロス。道新スポーツ杯カートレース北海道グランプリ。ミニライディングスクール。ブーツ投げ大会。招待選手サイン会。



関西

●主催 ㈱ヤマハ藤田/ヤマハ関西㈱
●後援 YESS加盟店会
●月日 8月3日(土)、4日(日)
●会場 兵庫県三木市・さわやかランド・グリーンピア三木
●イベント 8時間耐久レース・スクーター6時間耐久レース・ヤマハ杯トライアル大会など参加して楽しむイベントが中心。この機会にYESSスタッフの

拡大も期待されています。
OPEN DAY
バーベキューパーティ。レース参加選手紹介。ゲストライダーアトラクション。ジャンケン大会。チーム対抗つなぎ。BMX風船割り。スクーター耐久レーススクイズ投票。スクーター6時間耐久レース。

サマーフェスティバル杯トライアル大会

OPEN DAY



"キング"ケニーも
来場!



Coke is it! CDはヤマハです。
CD X2 500円 ¥69,900

関東・中部

●主催 ヤマハ東京㈱/ヤマハ中部㈱
●月日 7月20日(土)、21日(日)
●会場 静岡県駿東郡小山町・富士スピードウェイ(F1SOO)

7月20日
前夜祭/河口湖ナイトフェスティバル。YRSサーキット体験走行。スポーツ走行。モトクロスとトライアルのデモ走行。

●主催 ヤマハ東京㈱/ヤマハ中部㈱
●月日 7月20日(土)、21日(日)
●会場 静岡県駿東郡小山町・富士スピードウェイ(F1SOO)

●主催 ヤマハ東京㈱/ヤマハ中部㈱
●月日 7月20日(土)、21日(日)
●会場 静岡県駿東郡小山町・富士スピードウェイ(F1SOO)

東北



●主催 ヤマハ東北㈱
●月日 8月3日(土)、4日(日) (カートは11日)
●会場 宮城県柴田郡・スポーツランドSUGO
ロードレース、モトクロス、トライアル...とモーターサイクル・スポーツを一堂に集めたエキサイティングな2日間は、スポーツランドSUGOならではのプログラム。今年も多くのバイクファンの来場を、お待ちしております。

OPEN DAY
スタジアムトライアル・デモ走行。オークション。協賛各社によるバザール。モータースポーツ・ミュージック・コンサート(FM仙台中継予定)。ヤマハライダーを交えたカラオケ大会、他。

OPEN DAY
BATTLE X3 時間耐久ロードレース。SLモトクロス第2戦大会。SLトライアル第3戦大会。献血運動、他。

九州



●主催 榑高木兄弟商会 / 内田自転車商会
 ●後援 久万町観光協会、四国YES加盟店、ヤマハフレンド店
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 愛媛県久万町・久万高原ふるさと旅行村

四国

中国

●主催 YES加盟店会 / 佐々木モーター
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 鳥取県白野郡・大山鏡ヶ成国民休暇村
 中国ブロッコは、今年も山陰地方の霊峰・大山のふもとにある大山鏡ヶ成国民休暇村が会場。大自然とふれあい、中国各地からバイク仲間が集合します。

COME ON & SAY YES. KYUSHU YAMAHA MOTOR SPORTS SYSTEM

85 SUMMER FESTIVAL IN KYUSHU
 '85サマーフェスティバル
 イン九州

●とき 8月3日(土)・4日(日)
 ●ところ スコレ 新池高原 熊本県熊本市大字

●とせ
 ●とせ
 ●とせ

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

今年、サマーフェスティバル・イン九州は、会場を熊本県のスコレ新池高原に移して開催です。大自然の中で、ロックバンドを囲んでのにぎやかな前夜祭。そして2日目は、地元ヒーロー光安鉄美選手を交えてのちびっ子レース。今年も楽しいといっぱいの2日間です。

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

今年、サマーフェスティバル・イン九州は、会場を熊本県のスコレ新池高原に移して開催です。大自然の中で、ロックバンドを囲んでのにぎやかな前夜祭。そして2日目は、地元ヒーロー光安鉄美選手を交えてのちびっ子レース。今年も楽しいといっぱいの2日間です。

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

●主催 榑高木兄弟商会 / 内田自転車商会
 ●後援 久万町観光協会、四国YES加盟店、ヤマハフレンド店
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 愛媛県久万町・久万高原ふるさと旅行村

●主催 YES加盟店会 / 佐々木モーター
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 鳥取県白野郡・大山鏡ヶ成国民休暇村

●主催 榑高木兄弟商会 / 内田自転車商会
 ●後援 久万町観光協会、四国YES加盟店、ヤマハフレンド店
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 愛媛県久万町・久万高原ふるさと旅行村



YAMAHA

第2回85ヤマハサマーフェスティバル
 8.3・4 久万高原ふるさと旅行村

Vol.2
 85 YAMAHA
 SUMMER
 FESTIVAL
 IN
 SHIKOKU

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

今年、サマーフェスティバル・イン九州は、会場を熊本県のスコレ新池高原に移して開催です。大自然の中で、ロックバンドを囲んでのにぎやかな前夜祭。そして2日目は、地元ヒーロー光安鉄美選手を交えてのちびっ子レース。今年も楽しいといっぱいの2日間です。

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

今年、サマーフェスティバル・イン九州は、会場を熊本県のスコレ新池高原に移して開催です。大自然の中で、ロックバンドを囲んでのにぎやかな前夜祭。そして2日目は、地元ヒーロー光安鉄美選手を交えてのちびっ子レース。今年も楽しいといっぱいの2日間です。

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

今年、サマーフェスティバル・イン九州は、会場を熊本県のスコレ新池高原に移して開催です。大自然の中で、ロックバンドを囲んでのにぎやかな前夜祭。そして2日目は、地元ヒーロー光安鉄美選手を交えてのちびっ子レース。今年も楽しいといっぱいの2日間です。

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

今年、サマーフェスティバル・イン九州は、会場を熊本県のスコレ新池高原に移して開催です。大自然の中で、ロックバンドを囲んでのにぎやかな前夜祭。そして2日目は、地元ヒーロー光安鉄美選手を交えてのちびっ子レース。今年も楽しいといっぱいの2日間です。

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

今年、サマーフェスティバル・イン九州は、会場を熊本県のスコレ新池高原に移して開催です。大自然の中で、ロックバンドを囲んでのにぎやかな前夜祭。そして2日目は、地元ヒーロー光安鉄美選手を交えてのちびっ子レース。今年も楽しいといっぱいの2日間です。

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

今年、サマーフェスティバル・イン九州は、会場を熊本県のスコレ新池高原に移して開催です。大自然の中で、ロックバンドを囲んでのにぎやかな前夜祭。そして2日目は、地元ヒーロー光安鉄美選手を交えてのちびっ子レース。今年も楽しいといっぱいの2日間です。

●主催 全九州ヤマハスポーツ店会
 ●月日 8月3日(土)、4日(日)
 ●会場 熊本県新池市・スコレ新池高原

※このページにご紹介しました各ブロッコの内容は、一部変更されることもあります。

SUGO



この4月には30名がチャーターバスで「YESサーキットラン」に参加。バイクレジャーも幅広く楽しむアングルツーリングクラブのみなさん

7月20日は、全員フェイスコに集合です！

前ページにご紹介したYES活動のメインイベント「85ヤマハ・サマーフェスティバル」を機会に、お店のファンの育成、ヤマハファンの増大をはかるべく、さまざまな企画を計画中の販売店さんも多いことでしょう。東京・大田区のモトショップ・アングルさんもそんな1店です。

店内は「サマーフェスティバル・イン・フェイスコ」の話題でもち切り。左端が若いお客さまの良きリーダー・石井進社長

東京・大田区の環八通りに面した好立地の店で創業10年のご商売を展開する「モトショップ・アングル」さんは、YESを通じて店内でもひときわ活発なスポーツ活動を展開するお店として知られています。

そして、その主体となっているのがお店のクラブ「アングルツーリングクラブ」。17才から57才まで総勢70名のメンバーを擁し、月2回のミーティングをもとに、ツーリングからセーリングまで、ヤマハならではのスポーツレジャーを幅広く楽しんでいます。

「店の方でもクラブ員を家族のように思っているし、逆にクラブ員の方でも店を自分の家のように思っているようです」と石井進社長が語るように、「アングル」さんでは、活発なスポーツ活動を通じてクラブ員のお客さまは、アングルファン、ヤマハファンとして完全に定着しているのです。

『フェスティバルは遊びのチャンス
それを盛り上げるのは
店とお客さま！』

さて、そんな石井社長とアングルツーリングクラブのみなさんが今最も期待を寄せているのが7月20日、21日の両日富士スピードウェイで開かれる「サマーフェスティバル・イン・フェイスコ」です。石井社長は語ります。

「ツーリングに行くにしろ、レースに出る



にしろバイクは、そうして遊ぶための道具なんです。だから、何とか一筋、っていうのは、それに熱中している人たちの間ではいいかも知れませんが、とても狭い世界になってしまふ。それだけに店からお客さんに対する遊びの提供というのは、色んなジャンルの遊びを幅広く楽しめるようなものでないと、お客さんもついて来ないんじゃないかと思うんです。実際うちのクラブ員も、何でもやってみよう！いろいろな遊びにチャレンジしてみよう！という人ばかり。だからバイクでツーリングに行くと、目的地ではヨットを楽しまつていうクラブ員もいるんですよ。とにかくみんなで見たい！食べたい！聞きたい！っていう遊びの精神がいっぱいなんです。

ヤマハのサマーフェスティバルは、そんなクラブ員のニーズにピッタリ。ヤマハが提供してくれる遊びは、本当に幅広いものですかね。それは間接的には海のヤマハ、日本楽器のヤマハも含めたオールヤマハのイメージに結びついているからじゃないですか。

しかし忘れてならないのは、こうしたイベントは遊びのチャンスを与えてくれるだけのもの。実際にそれを盛り上げ、100%楽しむのは私たち販売店であり、お客さまなんです。今年のサマーフェスティバルでもきつとうちの連中は、他所とはちがった楽しみ方でエンジョイして行くと思えますよ！

アンコール試乗会で広がる金沢のヤマハファンの輪

「展示試乗会ではお客さまとの距離感もグッと縮まるからコミュニケーションもはかりやすい」と佐々木社長(左)



この日はやはり女性優先とあって、ギャルライダーの満足度は120%



会場にはいろいろなゲームも用意され、ゆっくり1日遊べる工夫がこらされた



1人でも多くのお客さまに、最新商品を見て、触って、乗っていただくという「新商品発表試乗会」。こうしたイベントも、一般対象日の前日にマーケットリナーだけを対象にした限定試乗会を行なうなど、やり方ひとつでファンづくりに最大限に利用できるもの。6月9日、ヤマハ中部嶺北陸支店・金沢営業所が管内の販売店の協賛を集めて開催した「FZ250フェーザー・アンコール試乗会」も、まさにそんな1例です。

女性見込み客に的を絞った FZ250フェーザー! アンコール試乗会

金沢をはじめヤマハ中部嶺北陸支社管内の販売店さんではいま、サマーフェステイバル観戦バスツアーも募集中



雪のために春3月から10月までしかバイクを楽しむことができない北陸・金沢。ご商売の波も3・4月の春商戦で最初のもり上がりを迎え、5・7月の夏商戦でピークに、そして7月以降は翌年の春まで平穏な状況が続くといえます。

それだけに、お店にとってのファン・固定客の重要性も他地域以上に大きいものがあるといえるでしょう。こうした市場特性にあわせて、販売店さんとヤマハは例年春の全国一斉展示試乗会の後、それをさらにフォローする第2弾の「アンコール試乗会」を開いて夏需要の喚起と、お客さまの間の継続的な話題づくりを続けています。そして今回の「アンコール試乗会」は、今年の最重要スポーツモデル・FZ250フェーザーに的を絞り、初心者からベテランまで、男性から女性までというFZ250フェーザーの幅広い商品性を活かして、特に最近伸長著しい女性ライダーをターゲットに開催されたのです。

「女性ライダー大集合」のキャッチフレーズのもとに、試乗してアンケートにお答えいただいた「女性」には、チームヤマハTシャツの特別プレミアムも用意しました。

絶え間ない話題づくり ファン育成

さて、こんな「アンコール試乗会」を販売店さんほどのように活用されているのでしょうか。今回も積極的な動員活動を展開された金沢市増泉の「第一ヤマハ販売」佐々木正道社長さんにかがいました。

「この試乗会にはふたつの大きな意味があると思うんですね、第1はもちろん新商品の魅力をしっかりと理解していただくこと。それともうひとつは「自分が関心のあるバイク以外にも、こんなにたくさんさんの個性のバイクがあるのか!」って、ヤマハの商品構成の幅広さ、ひいてはうちの商売の幅広さを知ってもらうことですな。」



またもうひとつ加えれば、店頭と展示会場では、お客さまと私たちの距離感が全くちがうということです。店では「お客さまと店主」という関係でなかなか進まない会話も、ここだとリラックスしてどんどん弾んでいく。特に今回などは、女性に的を絞った話題性の大きな試乗会なので期待しているんです。」

お客さまとお店の距離を 縮める展示試乗会

「市場は洗面器に入れた水」というのが佐々木社長の持論。

「一度波を立てただけですぐに静まってしまふ。絶えず石を投げ込んで波立たせつづけないといけないというわけです。こうした試乗会にしても、これでFZ250の話題、女性ユーザーの話題がヤングの口コミに乗って広がって行く、それによってニューモデルの販売が順調に伸びていくばかりでなく、うちのファン、ひいてはヤマハバイクのファンが増えていくことにつながるんですよ。」

大学生ユーザーと20代の社会人ユーザーを中心に積極的なスポーツバイク販売を展開する「第一ヤマハ販売」さん。最近では女性スポーツユーザーの増加もめざましく、奥さま美喜さんが中型免許を取って乗り始めた昨年秋からは、女性ユーザー増加に一層拍車がかかっていたところ。それだけに今回の女性ユーザーに的を絞ったFZ250フェーザーアンコール試乗会は、佐々木社長にとっても意味深いものだったのです。

「遊ばせ上手な販売店」が目標

「絶えず石を投げつづける」という意味からこの試乗会の後に、7月20日・21日に富士スピードウェイで開催されるサマーフェスティバルへの動員活動を始めています。今年は観戦バスツアー、バイクを離れたところでヤマハファン同志のふれあいを広げることは、長くオートバイと付き合っていたことにもつながりますからね。

これからも「遊ばせ上手な販売店」をめざし、こうした展示試乗会やYES活動を通じて固定客・ファンづくりを進めていきたいと思っています。」

「という佐々木社長。今年はこの展示試乗会と運動して女性だけのツーリングも企画されていますが、「第一ヤマハ販売」さんのファンの輪は、こうして女性にまで大きく広がっています。」



タイムリーな企画で話題を呼ぶ
「ハレー彗星」キャンペーンは6
月15日からスタートしている



とはいえ最近では、日本人1人当り年間平均約100通のDMを受けるといわれる時代。それだけにDMといっても、お客さまにフレッシュな感動を呼び起こす「新鮮さ」が何よりも求められています。

お店のファンづくりにとって欠かすことのできないのが、DM。日頃お店のことなどすっかり忘れていらっしゃるお客さまに、お店の存在を思い起こさせ、新しいコミュニケーションづくりの重要なパイプとなるからです。

さんが、この夏実施中の「キャッチ・ザ・ハレー」キャンペーンは、キャンペーンそのものの話題性といい、そのDMのユニークさといい、抜群のインパクトを備えたものといえそうです。

「ヤマハに乗ってハレー彗星大接近」と銘打ったこのキャンペーンは、76年ぶりのハレー彗星の地球大接近に合わせ、最も観測条件

↓初めての試み「海外DM」発送を前に、お客さま名簿を検討する亀谷社長(左)と担当の川上セールス



に恵まれたオーストラリアのシドニーから、ハレー彗星情報とヤマハスクーターチラシを日本国内のお客さまへ発送するDM作戦。期間中ヤマハスクーター購入のお客さまにもれなく彗星観測に重宝なブチグラスをプレゼントする他、抽選で天体望遠鏡などが当たるプレゼントする。さらに店頭からキャンペーンを告知する店頭演出作戦の3本柱からなるもの。中でも、お店のみさんの大きな期待を呼

んでいるのが、開封率100%を狙う「海外DM」です。

4年前の新規客41名を厳選して発送!

このキャンペーンにいち早く取り組まれている販売店さんの中でも、DMを活用したお店のファンづくりに日頃から意欲的な奈良県大和高田市の「モーターサイクル亀谷」：亀谷孝一社長にうかがいました。

「スクーターユーザーの固定化のポイント」は、アフターサービスでしょう。修理にしろ出張サービスにしろできる限り素早く対応すること。

それともひとつこれからは、お客さまのデータ管理にもとづいたキメ細かいアプローチ。うちの店は、いつもあなたのことを気にしているんですよ」という姿勢ですね。うちではヤマハの「ふれあいマイ・ショップ・サービス」を利用して開店以来すべてのお客さまをインプットしてもらいましたので、DMの発送にしても目的やテーマに見合ったお客さまのピックアップが簡単にできるんです。今回のハレー彗星キャンペーンも、4年前の新規のお客さまから顔を覚えている41名を厳選し、代替をおすすめします」

お客さまをしっかり理解したタイムリーなDM。結局それがお店に対する信頼感を生み、お店のファンとしてつなぎとめることになるのです。

スポーツイベントの開催によるお客さまの固定化。スポーツバイクでは当り前に行なわれていることですが、ヤング需要の伸長が著しいスクーター市場にとっても、これはいまや見逃すことのできないファン獲得策となっています。

ヤングニーズをすばりキャッチ！ YESSSショップ6店合同の スクーターレース

福島県下のYESSS加盟店6店さんによって組織される「FMSC」(福島モーターズ・バイククラブ)が主催する「FMSC・ファシリティーバイクレース・シリーズ」もそんな活

動のひとつ。今年3月から開催され、年間3レースが予定されていますが、店頭だけの告知にもかかわらず毎回予想を上回る参加希望が集まることから、さらに1レース追加

広く一般のお客さまの注目を集めるときに欠かせないのが話題性。ヤマハ東北盛岡営業所が岩手県全域に渡って展開している「TRYでチャンスにトライセール」は、ミス

お客さまに対して常に新鮮な刺激を与えるキャンペーンやセール。不特定のお客さまを効率よくキャッチし、キメ細かなアフターフォローによってファンへと育てる。タイムングや地域性などにマッチしたキャンペーンやセールは、ファンづくりの前段階であるユーザーキャッチに、意外なほど効果的なものです。



「サイクルショップ中畑」さん本店のスタッフのみなさん。右からスタッフの佐々木さん、中畑社長、奥さま貞子さん、2代目の明彦さん。左端は担当の小林セールス

ファンづくりの第一歩、ユーザーキャッチに話題いっぴいの「TRYでチャンスにトライセール」

↑家族で楽しめるモータースポーツイベントとして、また本格的なロードレースへの窓口として、ファン層を拡大するFMSCファミリーバイクレース。1戦目にはこの人気→この日のレース進行を担当した販売店のみなさん。左から福島輪業さん、新和さん、モトジェクト、菊田さん、塚本輪業さん、二本松サイクルセンターさん、川俣モーターズさん、またこの日都合で来場できなかった遠田オート商会さんFMSCの主要メンバー



されるほどの人気イベントとなっています。このレースの特徴は、お客さまが普段乗っているスクーターで、手軽に参加できるようにバイクの改造は一切認められていないことです。カタログ表示の馬力でクラスが分けられています。

「また、会場の福島市松川町の東亜自動車学校さんの協力で、教習コースを無料開放していただいていることからYESスタップのエントリーフィーが2千5百円という安さなのも人気のヒミツ。

「レース運営はエントリーフィーでカバー」というのが「FMSC」のみなさんの方針。金銭的負担をかせず息長くつづけようというわけです。

「ロードレースに対する関心の高さは、スポーツユーザーもスクーターユーザーも同じじゃないですか。また、思い切り走りたい、という欲求もスクーターでも全く同じだと思います。」

「また、会場の福島市松川町の東亜自動車学校さんの協力で、教習コースを無料開放していただいていることからYESスタップのエントリーフィーが2千5百円という安さなのも人気のヒミツ。」

「レース運営はエントリーフィーでカバー」というのが「FMSC」のみなさんの方針。金銭的負担をかせず息長くつづけようというわけです。

「ロードレースに対する関心の高さは、スポーツユーザーもスクーターユーザーも同じじゃないですか。また、思い切り走りたい、という欲求もスクーターでも全く同じだと思います。」

「また、会場の福島市松川町の東亜自動車学校さんの協力で、教習コースを無料開放していただいていることからYESスタップのエントリーフィーが2千5百円という安さなのも人気のヒミツ。」

「レース運営はエントリーフィーでカバー」というのが「FMSC」のみなさんの方針。金銭的負担をかせず息長くつづけようというわけです。

「ロードレースに対する関心の高さは、スポーツユーザーもスクーターユーザーも同じじゃないですか。また、思い切り走りたい、という欲求もスクーターでも全く同じだと思います。」



店舗近所の坂道で試乗会。トライの走りを理解してもらうにはここが一番

「また、会場の福島市松川町の東亜自動車学校さんの協力で、教習コースを無料開放していただいていることからYESスタップのエントリーフィーが2千5百円という安さなのも人気のヒミツ。」

「レース運営はエントリーフィーでカバー」というのが「FMSC」のみなさんの方針。金銭的負担をかせず息長くつづけようというわけです。

「ロードレースに対する関心の高さは、スポーツユーザーもスクーターユーザーも同じじゃないですか。また、思い切り走りたい、という欲求もスクーターでも全く同じだと思います。」

「また、会場の福島市松川町の東亜自動車学校さんの協力で、教習コースを無料開放していただいていることからYESスタップのエントリーフィーが2千5百円という安さなのも人気のヒミツ。」

「レース運営はエントリーフィーでカバー」というのが「FMSC」のみなさんの方針。金銭的負担をかせず息長くつづけようというわけです。

「ロードレースに対する関心の高さは、スポーツユーザーもスクーターユーザーも同じじゃないですか。また、思い切り走りたい、という欲求もスクーターでも全く同じだと思います。」

「また、会場の福島市松川町の東亜自動車学校さんの協力で、教習コースを無料開放していただいていることからYESスタップのエントリーフィーが2千5百円という安さなのも人気のヒミツ。」

「レース運営はエントリーフィーでカバー」というのが「FMSC」のみなさんの方針。金銭的負担をかせず息長くつづけようというわけです。

「ロードレースに対する関心の高さは、スポーツユーザーもスクーターユーザーも同じじゃないですか。また、思い切り走りたい、という欲求もスクーターでも全く同じだと思います。」



↑お揃いのお店のTシャツで参加のお客さまも目立つ

↓RZユーザーのOL5人組もそろって参加。



ヤマハコースを走った後は、本社工場見学。ゴルフカー、スノーモビルなど製品の幅広さを改めて認識

スポーツユーザーの間でいま最も人気の高いイベントといえば、YRSサーキットランやサーキット体験走行会など。しかし、コースがヤマハスポーツのふるさとヤマハコースともなれば、お客さまの印象もまた格別です。

ヤマハコース走行と工場見学でYSPから大きく広がるファンの輪

ヤマハスポーツバイクのふるさと静岡県袋井市のヤマハコースでのサーキットランとお隣りの磐田市にあるヤマハ本社工場の見学を通じて、ヤマハに対する理解を一層深め、YSPとお客さまの連携を強化していただくという催しが、6月14・15の両日、ヤマハ関西管内5営業所の8店のYSP店さんの手で開催されました。

神戸、大阪、京都の各地から140名のスポーツユーザーが参加。チャーターバスで浜松市内のホテルに入り、前夜はここでライダー同士の交歓パーティー。

そして翌日は、数々の名車を生んだヤマハコースをお客さまご自身の手で体験走行。さらにその後は、高品質・高性能ヤマハの製造過程をまのあたりに見学しました。

「あらゆるコーナーを組み合わせたヤマハコースを走ってみて、自分が乗っているRZの走りの良さが、改めて納得できました。また工場を見ても、1台1台でいねいに組立てられているのが、とても印象的でしたね」というのは、RZ250RRの大学生ユーザー 渡部和明さん。

このように、ヤマハコースでのサーキットランと工場見学というプログラムを通じて、ヤマハのモーターサイクルづくりの姿勢に触れた2日間は、お客さまの間にヤマハや主催したYSPさんに対する意識を強烈に植えつけたようです。

トライ、ミスタートライ、ミセストライを一般から公募し、各1名を選出するという話題性も十分なキャンペーン。しかも、選ばれた人には各1台ずつ「TRY」がプレゼントされることであつて、いやがうえにも「TRY」への関心度は上がっています。

もちろん話題づくりだけでなく、実際の販促企画もガッツリ。期間中の「TRY」購入者に対しては、抽選でホームビデオやヘッドホンステレオがプレゼントされる他、お客さ

店頭活動がファンづくりのキメ手

この「TRY」でチャンスにトライセールの、自店開催のキャンペーンである「ザ・スクーターまつり」をプラスして、この時期のスクーター取扱に力を入れる「サイクルショップ中畑（岩手県盛岡市）さんの中畑剛一社長は「冬の長い東北では、春から夏にかけてが

年間の商売を決める最需期。キャンペーンはこの限られた販売期の話題づくりということとで、実際にスクーターファンを作っていくのは、店頭での対応の仕方です。

ヤマハのセールによってトライに興味を持つてくれたお客さまが、店を訪ねて来たときからが勝負です。うちでやっているセールには安全点検や下取りなどのメニューがあるんですが、その内のメインとなっているのが試乗会で、話題性だけではなく、実際の性能

を理解していただいた上で納得して買ってもらおうということですね。

店の近所にある急坂を登ってもらうんですが、トライの走りの良さにみなさんビックリしていますね。1回の試乗で100%の成約ですよ。また、こうして買ってくれた方に対しては、点検セールや店のイベント招待などでしっかりとフォローをする。こうした店頭での活動が、息の長いファンを作っていく大切な要素になるんだと思います」

YAMAHA RACING SPIRIT

証言で綴るヤマハ挑戦の記録

シリーズ4



本格化するロードレース '60年代の新しいレース体制

ライダーも技術者も
“必死”で勝負していた

「本橋君、もう1秒なんとかならないか？以前のベストタイムを出して欲しいんだけどね」と永易監督。本橋明泰選手はその時、彼なりに必死で走っていた。しかし、タイムは1分31秒で以前のベストタイムは1分30秒そこそこ。ベストセッティングを出すためには、1秒たりとも妥協するわけにはいかなかったから、監督はたった1秒のために本橋選手にプレッシャーをかけたのだった。

「ライダーと技術者がお互いに限界レベルの時でしかセッティングについての話をするのができなかったのです。たとえば1秒ほどタイムが悪いとコミュニケーションすることさえできなくなりました。技術者サイドもそれこそ必死でやっていたわけですから、ライダーに対してもシビアさを求め、お互いが限界レベルでなければ話をしても無駄だというムードが流れていたからです。たしかにそうでないと、良いマシンもできないし、時間ももつたいたいのですからね。ですから私としては、コーナリングでの問題点があるときでも、タイムアップさせるだけでなく、コーナーを攻めて攻めて攻めまくって見せたんですよ。技術者側が納得するまで」。

'50年代のヤマハレーシングスピリットは、渡瀬監督のもとで育まれ、内藤浩氏、長谷川武彦氏そして永易監督へとバトンをタッチされたが、本橋氏がヤマハ入りした'60年代初頭からヤマハレーシングチームの雰囲気も次第に

'62年、2度目の挑戦となったマン島TTレース・250ccクラスで2位に入賞した伊藤史朗(右)と4位の長谷川弘。手にしているのは、シルバーレプリカ。伊藤は、日本人として初めてTTレースの表彰台に立った(写真)

'66年、富士スピードウェイで行なわれた世界選手権・日本GPは、ヤマハのオンパレードであった。メインレースの250ccを制したのは長谷川弘(中央)。2位リード、3位本橋とヤマハトリオが表彰台を独占した



変りつつあった。あくまでも勝利への執着とレースへの厳しい態度は継承されたが、各スタッフはより高度な専門的能力を要求されていた。全員が一丸となって強化合宿に励んだ富士登山レースや浅間火山レース時代とは明らかにチームのあり方が異なっていた。ライダーはライダーとして各個人が厳しく自己を管理し、技術者は技

術者として、より高度なレーサーを作り、そして監督は専門の監督としての能力を要求された。いわゆる職能の高度化と細分化であったが、それはとりもなおさず海外のみならず国内においても、急速に本格化するロードレースに対応するためにほかならなかった。さらに本橋氏は続ける。

「ピンと張りつめたものが、常にパドックやピットにあつたんですよ。もちろんレースに限らず、テスト走行の時でも。全体にそんな空気が流れていて、誰もが真剣に自分の仕事を全うしている感じでした。部外者から見ると、ヤマハワークスはとても恐いムードに見えたんじゃないでしょうか。」

高い次元で各スタッフがレースに取組もうとするから、いつもピリツとした雰囲気となった。これが当時のヤマハラしさでもあった。ちょうどその頃のヤマハは、海外へ向けての販売戦略も順調に進んでおり、レースの方でも伊藤史朗を中心として、長谷川弘選手、本橋明泰選手など各ライダーの全世界におよぶ活躍が目立ち始めていた。

波に乗る伊藤、そして長谷川、本橋選手

まずは、'62年8月。九州は雁の巣での第5回クラブマンレースに、ヤマハはTD1を用意。モータースポーツの底辺拡大を狙ってノビス用としてデビューさせる。さつそくその年11月の『第1回鈴鹿全日本ロードレース』ではノビスクラスで片山三橋が第1位、2位、350ccクラス用としてポアアップしたTD1改の片山が圧勝して、当初の狙い通りの成果を見せはじめた。TD1は、エンジン

はもとより、フレームやサスにも新材料や新しい加工技術を導入していた。その高性能ぶりはやがて海外でも知られるようになり改良型のTD1BやTD1Cとして、さらに性能や信頼性を向上させて続々と輸出されるようになった。



'63年の第1回全日本選手権ロードレースから15年間、ヤマハロードレースチームとともに歩みつつけた本橋明泰氏

になったのである。

一方、この大会の国際クラスでは、デビューしたばかりの250ccレーサー・RD56に伊藤史朗が乗り、世界のポイントリーダーを相手に、大接戦を展開。場内は興奮のつほと化した。結局、伊藤は周回遅れのマシンに手間取り、僅差で3位となる。しかし、日本で初めての本格的な国際レースで、日本人が日本製マシンで熱戦を繰広げたことで伊藤の知名度はさらに高まり、まさしく世界の伊藤としての地位を得ようとしていたのだった。さらに伊藤の活躍はとどまるところを知らなかった。翌'63年2月に行なわれたテイトナGPで念願の1位を獲得。アメリカ本土での彼の名はカタリナ善戦以来不動のものとなった。

その年の4月、東南アジアのレースをメインに活躍していた長谷川氏は、シンガポールGPで伊藤、長谷川の順でワンツー。そして、世界GP第4戦マン島TTでは伊藤2位、長谷川4位となり、続くオランダGPでは伊藤2位、砂子が4位。'61年のヨーロッパ初遠征とは打って変わって好成績をつづけ、ヨーロッパでも「ヤマハつよし」を知らしめたのだった。そしていよいよベルギーGP。



'60年代の世界GPのハイライトはなんといってもマン島TTレース。'65年、P.リード、125ccクラス優勝の写真速報。この年には、250cc、350ccにもエントリーして大活躍した

'66年マレーシアGPに遠征した長谷川弘(左から3人目)と本橋明泰(1人おいた右)



63年、日本で初めて行なわれた世界選手権最終戦、第1回日本GPで、またしても伊藤は大暴れ。このレースからヤマハ入りしたPリードを含めてライバルとGP史上まれに見るつばせり合いでファンを熱狂させた。結果

世界選手権・日本GPの時代へ

スバ・フランコルシヤンは250ccでもラップ速度が200km/h近くに達するほどの高速サーキット。まさにRD56向きである。伊藤の調子もいい。ところが勝算は、と思う矢先に原因不明のトラブルがヤマハを襲った。スタートまでそれほど時間はない。スタッフはあせりにあせった。なすべきことはすべてチェックしたというのに、いっせいに調子は良くなる。RD56の開発スタッフはここでひとつの対策にかけた。

絶対に勝つてやるんだ、という気迫が全員にみなぎっていましたからね」
長いレース生活の中でもこのことは、忘れられないという砂子義一氏。原因はエンジンの振動で、キャブレターのフロート室のガンリンが泡立って、それでガス切れ症状を起こしていたのである。調子を取り戻したRD56は189.6km/hというコースレコードを樹立してゴール。1位は絶対調子の伊藤。2位は砂子だった。

「イチカバチカ、やるだけやってみようというところで選手も技術者もかなり不安だったんです。なにしろ最高速度付近でエンジンがバラつく、という現象を直せなかったから。でもみんな最後まであきらめなかったんです。」
この調子でGPを追えば、伊藤はひょっとして世界チャンピオンに？ 誰もがそう思うほどRD56と伊藤は速かった。しかし、ヤマハは当初のレース計画通り、日本に戻るのだった。



'60年ヤマハチームの中心的存在として活躍したイギリス人ライダー、フィル・リードとRD56。左は関メカニック



リードとならぶもうひとつのヤマハの顔は、初代のリトルジャイアント、ビル・アイビー。名前にちなんだヘルメットの鳥のマークで人気を呼んだ。

「レースでの勝ち負けに、一企業の存続がかかっている、と本気で思いましたね。まさしく男の勝負ですよ」
と長谷川氏。同じヤマハに乗り、時に同じレースに出場しながら、長谷川氏と本橋氏のレースに対する思い入れは微妙に異なっていた。長谷川氏はまさしくヤマハを思う熱血漢。対する本橋氏は、純粋なスポーツとしてロードレースをとらえてヤマハに命を賭けたのだ。たといえ2人はヤマハとともに素晴らしい業績を残した。

「今でもはつきりとその時のことを思い出せます。周回数はずか24周で走行距離は144キロ。観客も5万人はいたんじゃないですか。場内はずいぶん選手がたくさん来るというので熱気でムンムンでした。ヤマハからは私のほかにP・リード、B・アイビー、それに本橋君も出てました。みんなマシンは水冷V型2サイクル4気筒のRD05Aというスゴイパワーのマシン。あいにくB・アイビーはマシントラブルでリタイアとなり、私とリードのせり合いになったんです。30度バンクを200km/hぐらいで突っ込み、ここでスロットルをオン。セッティングが良かったのかリードをすこし引き離せました。しかしそれでも彼はビタリ私をマーク。最後の最後までせり合って勝ったのです。私にしてみれば国内では最初で最後の優勝。一生一代のレースでした」
そして彼はこうしめくくった。
「ライダーが実力を発揮できるような工夫がやはり伝統として残っていたのでしょ。そういう意味ではジョホールGPからずっと面倒を見ていただいた永易監督は、監督として名人だったと思います。おとなしいけれど、とても厳しい人でした」
本橋氏はまた、その結果としてこのような感想を述べた。
「ロードレースには人の命がかかっています。私はヤマハにいたから15年もの長い間活躍できたのだと思います。馬力アップや各部の軽量化など、テスト前の段階で徹底的に安全対策をし、必ず最終確認をしているからです。それがヤマハの一番良いところではないでしょうか」
ピンと張りつめたパドックやピット。それは単に目先にある勝利のためだけではなく。他の誰をも寄せつけない厳しきこそ、実は、ヤマハのモーターサイクル作りにおけるヒューマニズムであった。60年代に数々のレースシーンを駆け抜けていったヤマハの男たちはそんな土壌で育まれていたのだ。そして、64年の250ccを皮切りに、60年代のヤマハは、彼らの活躍によって5つの世界選手権ロードレース・メーカータイトルを獲得した。(つづく)

情報スクランブル

BOOKS

●第3弾登場!

『カタログコレクション:世界のオートバイ』

日本のオートバイカタログを集めて、これまでに2冊発行された『カタログコレクション』



ン」の世界のオートバイ編。前編同様に、片岡義男、柏秀樹の両氏による共著で、飾らない編集がノスタルジーを超えた感動をあたえてくれます。

双葉社/¥2500

☆☆☆

●セピア色の向うに物騒りがあった『80'sBIKE』

60年代初頭からの、オートバイを通した若者の生活ばかりを集めた写真集。モノクロのしかも素人が撮ったスナップ写真が主体のちよつと変わった一冊ですが、ジツクリと眺める



うちに、今も昔も変わらないバイクフリークたちのメッセーシが聞こえてきます。双葉社/¥580

DISK

●夏に帰ってきたスーパーヒーロー

『The Beach Boys』

サマーサウンドズといったらビーチボーイズと言われるくらいにこの季節にピッタリの5人組が、5年ぶりに出したニューアルバムです。波と太陽をタイレクトに連想させるサウンドは昔のまま。中でも聞きものは海で死んだメンパーに捧げた『バシフィック・フレンジ』や『ゲッチャバック』など。ブラザーレコード(USA)/¥2180



WAVE-BESTS

すっかりお馴染みとなった東京六本木のニューメディアスペース『ウェーブ』からの音楽情報。洋楽LPレコードの売り上げベスト5です。本格的バイクシーズンを迎えて、お店のBGMも一新。ヤングの感性にしっかりと応えましょう。

TOOL

1位	キユービッド&サイケ'85	ミュージシャン
2位	アワフェバレットショッパ	スクリットティ、ポリットティ
3位	ポイズ&ガールズ	スタイルカウンスル
4位	クレッドキユアーズ	ブライアン・フェリエール
5位	シェイクンスタード	トリーキング・ヘッドズ
		ロバート・フランド

●紙からブリキまで
これ一本でなんでもパツサリ
『チリス・スニッパー』

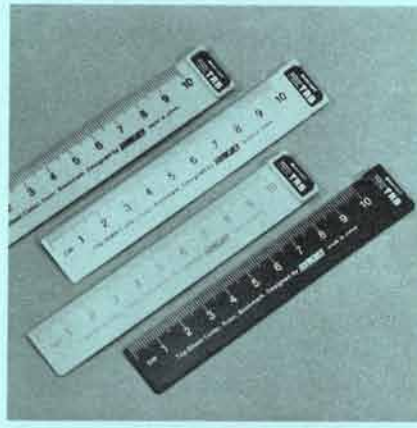


物を切る道具には種類が多い、特にハサミなどは切るものの素材別や用途別に何十種類もあります。こういうものを一つにするのが本当の便利もの。文具にもなるし台所用用品にもなる。そして植木の手入れや工具としても使える。切ることできませんが、切ることもなら素材を選ばないすごいハサミです。しかも日本のものと違い、左利きの人でも楽に使えるのがうれしいのです。

STATIONERY

●事務コーナーの机の上にひとつは欲しい
『一枚切りのスケールしおSS100』

名前を読めばすべての用途が解ってしまいますが、しおりにもなり、新聞や雑誌の切り抜き用の一枚切りカッターにもなり、10cmのスケールとしても使えるという、これひとつで3通りの使い方ができるものです。これらの使い方の共通点を考えれば、机上にあればただけ便利かがおわかりいただけるでしょう。



よう。問い合わせ オルファ ☎06 (972) 8101 / ¥1100

EVENT

●ノリスのためのプロダクションレース
『パトトラック3時間耐久レース』

新人ライダーの登龍門として年ねん拡大をつづけるプロダクションレース。その頂点をめざす『パトトラック3時間フェスティバル』が、今年も開催されます。今年8月3日、4日のSUGOと、9月28日、29日の筑波サーキットの2会場で開催。

▼『パトトラック in SUGO』問い合わせ
ポーツランドSUGO・モーターズポーツ課
☎02248 (3) 3127

▼『パトトラック3時間プロダクション・フェスティバル』問い合わせ
スタッフハウス ☎03 (914) 4763



●誰でも出場できるエンデューロレース
『MOCO3時間耐久エンデューロレース』

福島県下のYESS加盟店6店さんによって組織される『福島モーターズポーツクラブ』主催のオフロード耐久レース。会場となるえびすサーキットは、耐久レースでおなじみの羽鳥にかわる福島県のオフロードスポーツのメッカ。初心者対象というものの、エキサイティングなレースが期待されています。

問い合わせ ヤマハ東北輦郡山 ☎0246 (33) 6771

私の北極点は北緯88度40分で終わってしまったけれど、悔いはない。62日間、精いっぱいがんばったんだもの。心の中は、この北極の青空のようにさわやかです。——重さ450kg、長さ5mの木製ソリをヤマハスノーモビル・エクセルIIIで引っ張って女性として初の北極点踏破をめざしていた女優の和泉雅子さん。あと140余kmと迫りながら、夢はついに実らなかったものの、ノースポール（北極点）への道なき道で繰り広げた苦闘のドラマは、いま日本中にさわやかな感動を呼び起こしています。



「北緯88度40分、ここがマコの北極点だから……」というアムシの提案で、記念撮影



ヤマハスノーモビルを駆って北極点めざした
和泉雅子さん、苦闘の62日間

地球のてっぺんには
立てなかったけど……

乱氷帯で氷原でその威力を100%発揮したヤマハスノーモビル・エクセルIII。2サイクル・2気筒・340ccは、零下40度でも確実に始動。1200キロをノントラブルで走りぬいた。『特に乱氷帯越えでのスノーモビルの威力はすばらしいものでした。450キロのソリを引いて昇って行くサマは本当に感動的でした』（和泉さん）



おれんのように沈む北極の太陽。4月12日からは夜のない世界が始まった

▼押し流されるだけの善しに
区切りをつけ、自分の心に
最高のトータルポルをノ

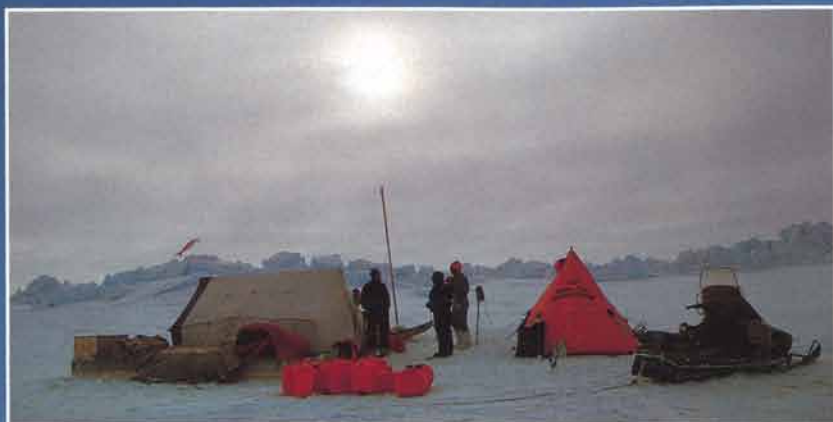
地球のてっぺんに立ってみたい。このきわめて単純な思いが、和泉雅子さんを北極点へと駆り立てたのです。

2年前、テレビ番組の仕事で南極に出かけた和泉さんは、白い大陸の未知の風物に接して、かつてなく豊かな気持ちを感じることができました。そして、その思いが、いつしかもうひとつの極点・北極への憧れに変わっていったのです。

4年前から山登りを始め、毎日10、近いジョギングを続けて、体にはそれなりの自信を持つていた和泉さん。昨年6月には、ひそかに踏破計画を練り始めました。3年に犬ぞり北極点に到達した日本隊の五月女次男氏に相談。11月には1週間、北極圏の町カナダのレズリュートを訪れ、北極の名ガイドとして知られるベール・ジェスターセン氏にも協力を依頼しました。

そして今年1月28日に日本を出発。レズリュートでヤマハスノーモビルの運転、テントの設置、ライフル射撃、人工衛星アルゴスを使って正確な位置を知るための携帯用航行装置や無線機の扱い方などの訓練を重ねていきました。さらに2月の中旬には、零下40度を越す極寒の中で3日間テント生活も体験しました。





5月19日、「テントの外が急に暗くなり、また荒天に……とがっかりしたら、なんと日食だった」



イスイットたちは、氷原にできた風紋で北を知り、こうして何キロも先の氷の状況を判断する



高さ7メートルにも達する乱氷帯。ここにソリ道をつけ、スノーモビルで越えるのだ



▼偉いぞ、私のマシーン

10才で芸能界に入り、働きつめの27年間、押し流されるだけの暮しに区切りをつけ、自分の心に最高のトーカムボールを乗りたい」という和泉さんの夢は、こうして二歩一歩着実にスタートへ向かって動き始めて行ったのです。

3月21日、レズリユートのベースキャンプからスタート地となるカナダ最北端のワードハント島へ空路移動。そして、23日、午前10時30分微風・快晴。零下34度の中を元気がいいにスタートしていったのです。折り返しも今年には北極点への遠征ラッシュ。和泉隊に先だってアメリカ・フランス、イギリスの各隊も相次いで出発していきました。(スノーモビルを使わないこれら3隊は、4月30日までにいずれも断念)

和泉隊は、和泉雅子さんを隊長に、日本人2名、現地ガイドのイスイット(カナダエスキモー)3名の6人編成。北緯83度14分のワードハント島から極点まで777.7kmを50日で踏破しようというのが、当初の計画でした。

スタートから4.5ほど走って最初の乱氷帯に遭遇。北極海を覆う大氷原は、海流や風の影響で絶えず動いており、その際に亀裂が生じる、その割れ目が押し合って隆起し乱氷帯をつくるのです。高さ5〜6mの水の山となって次から次へ行く手に立ちふさがる乱氷帯。ドオと呼ばれる長く重い鉄の棒で氷塊をひとつひとつ砕き、何時間もかけてこれを切り開いて進みます。

また氷原に出ても、北極海の氷は荒い波のようには伏せていません。ヤマハスノーモビルに引かれて疾走する木製ソリは、ロデオとホブスレーを合わせたような乗り心地なので落ちないようにするだけで精いっぱい。でも地吹雪で雪が深く日に3回はソリが引っくり返る。そのたびに雪原に叩きつけられて痛いこと、イタイこと。(和泉さん)と決して楽ではありません。

それでも極寒の中では1日約5.5程度だろ、という当初の手訓をみることにくつがえして、1日15〜20kmも走りつけました。中でも2台のヤマハスノーモビルは元気がいい。ヤマハのスノーモビルは健闘している。あちこちぶつかってデコボコだけど、これはない。偉いぞ、私のマシーン。(4月3日、和泉さんの日記から)



北極海で生活するイヌイットたちの必需品・トオと呼ばれる重く、長い鉄の棒で乱氷帯にソリ道を開く「6時間かかった道路工事のあと、アットという間にスノーモビルがソリを引いて通りすぎちゃうんですからね」



←深いリードはこうして渡る。ソリが海に落ちかかったことも何度か

位置の測定は人工衛星アルゴスで行なった。この無線機でアルゴスに電波を送り、その反射をベースキャンピングでキャッチ、キャンプから隊へ無線で位置が知らされてくる



北極でのスタミナ源は、このカリブーの生肉

日が立つにつれ、リードはしだいに大河のように



ヤマハスノーモビルを操縦して大活躍したガイド役のイヌイット、アムシ（39才・左）とオココ（42才）。ヤマハスノーモビル・エクセルIIIの使用は、リーダー・アムシの経験から決定された「操縦性のいいヤマハでなければ……」というアムシは、大のヤマハファン。普段の生活にもヤマハスノーモビルを使い、分解整備もやっつけてける

極点到達も秒読み地点に入りながらの悪戦苦闘に、急換ベースキャンピングから五月女氏も駆けつけ「何が何んでも、あと180分を賭けたのです。しかし、スタートから62日目の5月22日、北緯88度40分、極点まであと14.8分の地点で四方を大リードに囲まれ、「これ以上進んだら命の保証はない。全員が無事で帰ってこそマコ隊遠征の意味がある」と、勇気ある撤退を決定。4人の男性隊員に和泉さん自らが告げたのです。最後の可能性を求めてスノーモビルでルートを探しつつづけていた2人のイヌイットも「自分が隊長でも同じことを言うだろう」と快く納得。「私はこれまでにも多くの北極パーティーに参加したが全くモメ事がなかったのはこれが初めて、私たちにとっても大変ハッピーな62日間だった」というイヌイットのリーダー・アムシの言葉に送られて、和泉さんの北極点踏破行は、さわやかに幕をおろしたのです。直線距離600km、ヤマハスノーモビルの走行距離数千数百km。女性として最高の北極踏破記録を打ち立てながら……。

▼全員が無事で帰ってこそ……
勇気ある撤退を決定

しかし、今年の北極は「百年に一度」というほどの異常気象。どんどんと気温が上昇し、名物のブリザードが少なくなかりに、雪が多く、積雪が50cm以上にも達しています。

スタートから46日目の5月7日、重量を減らしてスピードアップを図ろうと、日本人とイヌイット1人ずつをキャンプに戻し、4名で再び極点へ。この頃になると気温も、氷点下20度前後まで上昇しています。北極にも初夏の訪れです。

乱氷帯とあわせて、もうひとつの難関・リードの数も日に日に増えて行きます。氷が割れて海面が顔をのぞかせた開水面・リード。小さなリードは、数時間待機していると風向きなどの具合で氷が接近し渡れるようになるのですが、広いリードに出会うと迂回するしかなく、ジグザグ行進を強いられ、走行距離だけが伸びてしまふのです。待望の北緯88度20分に到達した5月14日頃から、1日に20本近いリード越えが続き、さらに5月15日、気温はついに氷点下6度まで上昇していました。

♥来店促進にさりげないひと工夫

お客さまをお店に呼び込むための方法は、イベントをはじめとして色いろと考えられますが、商圏特性にマッチした、こんなさりげない誘店策もあります。

東北は仙台市で商圏内に2つの大学を持つS店さん。お店用に設置したコピー機を入口に置き、1枚15円のコピーサービスを始めました。もちろん、「このコピー機を使って商売をなんて考えていたわけではありませんが、数日もしないうちに店頭はコピーを取りに来る学生さんで大賑い。

しかも、最初はコピー目当てで通っていた学生さんたちも、しだいに店内にあるオートバイに興味を持ち出し、そのままユーザーへとつながるケースも目立ってきています。レポートの提出や試験など、なにかと忙しい学生さんにとって、今やコピーは不可欠なもの、キャンパス市場ならではの誘店策となつていきます。「うちの店の前は公園だから、飲み物の自

販機でも置いてみようか……」なんてのもイケそうですね。

♥続・VTR活用法

このコーナーでも何度かご紹介したビデオ活用法、今回は一般ユーザーにオフロードスポーツを理解してもらおう、というものです。スポーツバイク取扱に力を入れるO店さんでは、自店クラブのオフロード活動記録をビデオに納めています。ここまでならこの販売店さんでもやっていることなのですが、O店さんではクラブ員からの強い要望もあって、それを店内放映することになりました。

自分たちが映っているだけに集まったクラブ員に好評だったのは当然ですが、意外にもたまたま居合せた他のお客さまにも大好評。さっそくクラブ活動への問い合わせがあつたと。この理由をS社長が語るには、

「市販レースビデオでは、プロの競技という意識が見る側に強く、自分たちとは別世界のスポーツのように一般のお客さまは受け取つ

てしまう。それが、身近にいる人間が、自分と同じようなバイクで、スベったり転んだりしながら競技を楽しんでいるのを見ると、とても身近に思えて、これなら自分でもできる、やってみようという気になるんでしょね」

その後は、自店クラブの活動をビデオに収め、店内放映してモータースポーツファンを増しているO店さんですが、ビデオ放映は当り前という時代だけに、どんなソフトを提供するかが大切なポイントになりそうですね。

♥レディスウェアがヤング男性に人気

京都市内の大型店さんでうかがった最近のバイクウェア傾向をひとつ。男性用のバイクウェアを女性が着る。女性専用ウェアが少なかった数年前にはよく見られた傾向ですが、最近はこのまったく逆のバタリンです。

用品売り場の一角に有名女性ライダーウェアのブランドコーナーを設けたT店さん。色とりどりのグループやアーツ、ウェアなどを並べ、さぞ女性客の目を引きつけているのとは思いきや、なんと、このコーナーに一番興味を示しているのはヤング男性とか。一番人気を集めるカラフルな布製のツナギにいたっては、10人中3人までが男性客といえます。男女の区別が少なくなった最近のヤング・ファッション、バイクウェアも男女を問わず、カラフルなものがウケているようです。

♥所かわれば品かわり、品がかわればお客さまも…

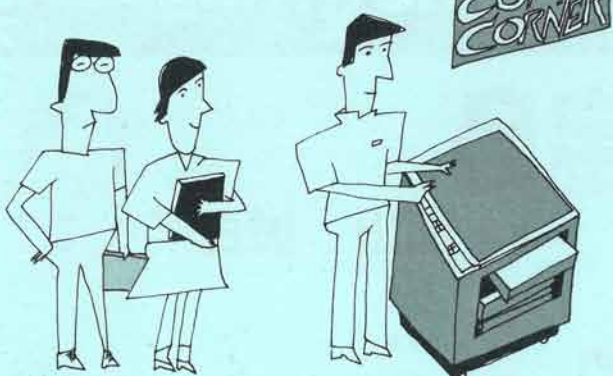
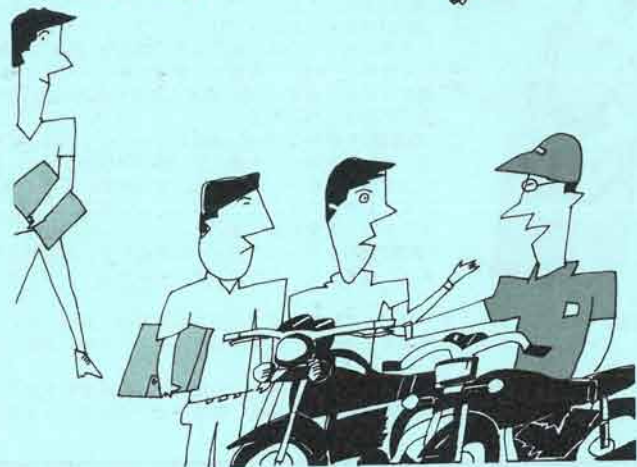
場所と商品がかわれば、そこに集まるお客さまも当然かわります。各地で盛大なバイクイベントが開催された今年のゴールデンウィーク。都内でもいくつかのバイク関連イベントが開かれましたが、中でも注目を集めたのが下町浅草のデパートで開かれた旧車展と、ヤングの街の渋谷で開かれた未来のバイク展。どちらも珍車を集めた展示会でしたが、そこに集まった客層はまったく別もの。古き良



き時代のバイクを集めた旧車展には、アダルト中心の正統派ライダー風の人たちが、一方、渋谷の未来派バイクの展示会にはバイクとは無関係といったようなヤング男性や女性が多く集まりました。来場者の違いがハッキリと出る展示会、ユーザーの嗜好を把握するには良い機会といえそうです。

♥定着、ミニバイクレース

ヤングのモータースポーツ熱の高まりは周知のとおりですが、最近になってまたひとつ新しい傾向が追加されています。もうご存知の販売店さんも多いでしょうが、各地のカートコースや自動車学校などで行なわれている50ccスポーツ車によるミニバイクレースです。手軽に一般公道用のスポーツ車で参加できるとあって、10代のヤングライダーを中心にどの会場も大賑い。しかもこれをキッカケに本格的ロードレースへと進むユーザーも多く、お店のモータースポーツ普及策として、見逃せないイベントとなっています。



各界専門誌編集長が語る当世若者気質

Magazine & Magazine

Part. 7

宝島

編集長 関川 誠氏



『宝島』

〔発行〕株式会社 I C C

〔創刊〕1973年7月に晶文社より『ワンダーランド』として世に出て3号目で休刊の後、誌名を『宝島』に変更して続刊。『宝島』4号目より版権が株式会社 I C Cに移り現在に至る。通巻139号（'85年7月号）。毎月10日発売。発行部数は公称30万部。

〔読者層〕年齢別では16-18歳をピークにその周辺で構成。高校生を中心に予備校生、専門学校生が多く、逆に大学生は少ない。男女比は、女性6割、男性4割。なお、都市部では広告・ファッション業界のヤングアダルトにも人気を博している。

〔編集方針〕メインカルチャーに対抗して、その反対や底流に位置しているカウンターカルチャー、サブカルチャーを全体的に伝えているメディア。

〔編集内容〕'80年代は「パンク」や「ニューウェイブ」を中心に展開。音楽（ロック、パンク）、ファッション、世界の都市ガイドなどの特集を軸に、ヤングの関心が高い話題をとりあげている。

〔編集長プロフィール〕1978年4月に株式会社 I C Cに入社、別冊『宝島』の編集部を経て月刊『宝島』の編集に従事。1980年8月より同誌編集長に就任する。1954年1月8日生まれ。血液型はA型。

多くの企業が若者の嗜好をつかむことに大変な労力を割いている中で、若い人びとの圧倒的な支持を受けている雑誌がある。創刊号からユニークな切り口で編集する月刊誌『宝島』がそれだ。そこで今回は『宝島』編集長の関川誠氏に、若者の傾向について聞いてみた。

面白いものであれば当然反応もある

企業からのインタビュが多いのでは？
「そうなんです。1カ月に5本ぐらいかなあ……。それだけ企業も若者のことをわかってなくなってきたというところでしょね」

「いつもどう答えるんですか？」
「それがイマイチはつきり答えていないみたい。聞くほうも肩スカシを食った顔してネ。」

「というのも、私達の雑誌はごく普通のことをやっているわけです。つまりオーソドックス。今、世の中、若い人達の間で流行しているものにアンテナを張っているわけですよ。面白いものであれば当然反応があるわけですよ。その反応があったものをさらに拡大しているだけですから。別に私達が彼らを何かの力で牽引しているわけではありませんでしょ」

「でも、アンテナの感度って問題もありますから。」

「いま、男の子は完全にパワーを失い、女の子は完全に自己解放されている」

「3年ほど前になりますか、今だに語り草になっていくんですけど、『アノアノ』というのがブームになったんですね。普通の女子大生が2人で私生活、それもセックスに関することなんです。それを誌上でバカロするっていう企画なんです。当時は女子大生ブームの走りなので、セックスの話といっても今に比べればそんな大したことではないんですが、それがセンセーショナルだった。そして、ついに大人の週刊誌にまで取り上げられて一大ブームを引き起こしたんです」

若者に受けて、オジサンにまで受けた。

「いちばん驚いたのは、むしろ本人達ですよ。週刊誌だ、テレビだ、でしょ。単行本にしたらアツという間に30万部売れた。本人達も最後にはひらきなあってブームに乗るつきやないノ、なんてネ(笑)。」

ただ、ここで大事なのは、彼女達が最初に

The Beatles

生誕40周年に合わせた4人水上は6子

CONTENTS

明石家さんま ぼくの青春

ロックンロール伝説

「私達の雑誌はどちらかというと、カウンターカルチャーみたいな部分を中心に取上げていた。だから、最初から素直にそうした問題に取り組み必然性を感じていたわけです。それと、若い人たちの嗜好をつかもうとするときは、音楽が最も重要なポイントになってきますね。音楽に引きつけられる形でアートとかファッションとかも出てきますから」

「パワーが期待できるパンク」

「それでは、その音楽でいえば、今どんな状況にあるといえますか？」

「ロックとかパンクとかいろいろあるけど、またパンクの時代がくるんじゃないかな。なんか面白くなりそうですよ。凄くマイナーなだけに、個々にパワーをもっている。」

始めた時は、彼女達のごく普通の日常を語っていたということなんです」

「つまり、それを取り上げるといえるか、すくく上げるマスコミが『宝島』以外になかった、ということですね。マスコミも老化しているってことでしょうか。」

「私達の雑誌はどちらかというと、カウンターカルチャーみたいな部分を中心に取上げていた。だから、最初から素直にそうした問題に取り組み必然性を感じていたわけです。それと、若い人たちの嗜好をつかもうとするときは、音楽が最も重要なポイントになってきますね。音楽に引きつけられる形でアートとかファッションとかも出てきますから」

「パワーが期待できるパンク」

「それでは、その音楽でいえば、今どんな状況にあるといえますか？」

「ロックとかパンクとかいろいろあるけど、またパンクの時代がくるんじゃないかな。なんか面白くなりそうですよ。凄くマイナーなだけに、個々にパワーをもっている。」



ストリート・パワー一瞥
パンクス1200人を集めた
ラフィン・ノーズ「新宿アルタ前事件」



「で、一方ではすごくマニアックにもなっているでしょ。いま『セビウス』っていうコンピュータゲームがブームなんですけど、これは非常に高度な戦争ゲームなんです。中に

男は13歳で人生が見えちゃう

「本当に孤立化しているんですね。一方ではすごくマニアックにもなっているでしょ。いま『セビウス』っていうコンピュータゲームがブームなんですけど、これは非常に高度な戦争ゲームなんです。中にあるとすぐ大騒ぎになる。なんでもないことでも騒いでみたくなる。そことパンクが結びついたということになる」

「そういう若者の意識の中で、いちばん今日の傾向というところどころでしょう。『そう、一番大きく変化したのは、孤立化』し

「男の子は13歳ぐらいで自分の人生が見えちゃうんじゃないかな。『人中○番』というのが客観的に出てきちゃうでしょ、好むと好まざるとにかかわらず。共通一次試験もそうだし、就職試験もそう。『難易度○○』なんて出されちゃったら誰だって選ぶ余地なんてないから、パワーだってなくなっちゃいますよ」

レベルの均一化が無個性に

「その意味では、これほど自己表現しやすい時代ってないんじゃないかな、って気もするんですけどね、表現手段もいっぱいあるし。『そう、だからちよつとしたハズミで食えちやったり、って現象もあるわけ。ただパワーは弱い。本来、自己表現っていうのはカタチじゃなくて個人的なものでしょ。それなのに今の時代は均一化しているから、みんな結果的には同じところにたどりついでちゃうんです。社会が均一化し、教育、環境、情報に差が

「さっき話したパンクバンド、ラフィンノーズというグループなんですけど、彼らにとつてソノシートを配ったのは金じゃないんですね。有名になりたいだけなんです。一般的に若い人たちは、すぐ効果が出ないとあきらめちゃうたり面倒臭いことって切りたがるけど、彼らはそれをやっている。だから私達もそのパワーに期待をしているというわけです」

「そう、根源的なところがフラットになっているので、失敗してもいいや、という意識で出発する。一様にあらゆることは知っていてソツなく事を進めるし、理解も早いんだけど、肝心のコミュニケーションがないので問題にぶち当たったときはすぐスタート地点に戻っちゃうわけ。こと、愛なんかにしても間い直さなくちゃならない場面であっても、そこで新たに煮つめなおさずに軽く逃げちゃう」

「大変といえは大変ですよ、若者も。」

従業員さん登場

⑦

休日はいつてもバイクと一緒、
不慣れな接客に苦勞しています。

林田輝夫さん(23才) (有)池田モーターズ・長与店/チーフ(長崎県西彼杵郡)

やがては自分のお店を持ち、一國一城の主にそんな希望を胸に毎日サービスに、セールスに取組んでいる若い従業員さんは多いのですが、今月ご登場いただいた林田さんも、まさにそんなお一人。

この春からは、支店のご商売のすべてを任せ、不慣れなお客さまの応待に奮闘中です。

●「きちんとした挨拶と言葉づかい」で奮闘中!

中学3年の終り頃には早くも「池田モーターズ」さんでアルバイトを始めていたというほどバイク好きの林田さん。その後、定時制高校に進んでからも昼はバイクの整備、夜は学業の毎日。卒業と同時に迷うことなく「池田モーターズ」さんに正式入社しました。

おかげで、サービスのキャリアは、23才の若さで早くも9年。日頃の仕事ぶりもすっかり板についたベテラン・サービスマンです。「自分で修理したバイクが、すぐに調子悪くなってしまう、こんな修理だけはしたくありませんね」という言葉からも、自信の程がうかがえますが、それだけにまたお客さまから寄せられる信頼も大きなものです。

そうした地道な努力が実ってこの4月からは「池田モーターズ」長与店のチーフの大役をおおせつかることになりました。

「正直いって苦勞しています。元もと人前で話すのは苦手でしたし、接客なんか、テレクさいんです。顔見知りの方ならいいんですが、初対面のお客さまや年配の方には、自信を持って堂々と接していかないと、こっちが若いだけになかなか信用してもらえません。」

よく社長からも「挨拶や言葉づかいは商売に限らず生活の基本。これがキチンとできな



従業員さんとお客さま、そんな間柄を超えてバイク仲間の先輩として若いお客さまからも慕われている林田さん(左)

社長さんからひと言

池田英雄社長

私たちが育った頃とは違い、今は覚えるのではなくて教える時代。セールスにしてもサービスにしても教えてあげないといけない。本音で教えてあげるのが若い人たちを育てる一番の手段だと思っています。林田君は、こちらのそんな気が理解できるから、成長も早いんですよ。

●一緒に遊びながら、1人でも多くのファンを

そんな林田さんは「池田モーターズ」さんにとって欠かすことのできないもうひとつの大役を受け持っています。

それは、お客さまの「スポーツリーダー」30名のメンバーを抱えるお店のクラブ「長崎レーシングチーム」の運営です。

「ツーリング主体のクラブなんですが、会員のみなさんは仕事だ、学校だと忙しい方ばかりで、コースづくりや、コースの下見などみんな私がやっています。とはいっても、私自身休みになれば、ツーリングに行ったり、レースを観に行ったりといつもバイクと一緒。クラブの面倒も仕事というより好きな趣味の延長みたいなものですがね(笑)。でも、こうしたことを通じて、1人でも多くの人が、店のファンになってくれれば嬉しいですね」

林田さんの当面の目標は、中型免許の「限定解除」。忙しさに追われて大型二輪免許取得の機会を逸してしまっただけです。年内には必ず「そんな思いを絶対に曲げまいと、新発売と同時に「FZ750」を購入してしまっただけ。この「FZ750」でのロングツーリングを夢見ながら、若さいっぱいには動きまわっています。

ツーリングファンの人気を集めて YESSSバイクビレッジ各地で開催

ヤマハが確保したペンションやコテージなどリゾート地の宿泊施設に各地からバイク仲間が愛車を駆って大集合。会場では、初対面のバイク仲間がバーベキューを囲みながらバイク談義に花を咲かせたり、ゲームを楽しみながら仲間同士の交流を深める。
昨年からスタートしたYESSSバイクビレッジも今年で2年目。気がねなくバイク仲間同士の交流を楽しめるイベントだから最高！というお客さまの声を集めながら、今年も各地でにぎやかにくり広げられています。

初の営業所主催に4店・40名が参加



↑YESSSバイクビレッジ・イン・房総に集まった神奈川地区のYESSSスタッフとショップのみなさん



→ペンションの庭を使ってのトラクション

5月18・19日の両日、ヤマハ東京 ㈱・神奈川支店・東神奈川営業所が、エリア内の販売店さんとお客さまを対象に開催した「バイクビレッジ・イン・房総」は、単一営業所主催のバイクビレッジとしては全国でも初めてのケース。
東京湾横断フェリーを使った短時間ルート、東京湾岸沿いの有料道路を使っ

たハイウェイルート、さらには、途中に林道なども入り込んだオフロードルート……など、お店とお客さまにあわせて楽しめるツーリングコースも紹介。参加したみなさんは、思い思いのルートで会場の千葉県館山市のオーバ村ペンションに集合しました。
参加した4販売店さん、約40名のお客さまは、会場で用品バザール、カラオケ大会などを楽しみながら、ライダー同志の交友を展覧。翌日は、またそれぞれ好みのルートを使ってツーリングを楽しみながら帰路につきました。

2年目を迎えて定着した音の湖バイクビレッジ



↑今年も音の湖バイクビレッジに集まった東京地区のYESSSスタッフ

また、同じく5月18・19日には、神奈川県箱根の音の湖において「音の湖バイクビレッジ」も開かれました。こちらはヤマハ東京 ㈱東支店が開催したもの。この「音の湖バイクビレッジ」は、昨年に引き続きの開催とあ

って、お客さまの楽しみ方も一段とバラエティに富んでいたのが特徴。思い思いのルートを經由して参加したYESSSスタッフは、コテージで夜のふけるまでバイク仲間との交流を深めていました。

北欧風のコテージも人気の音の湖バイクビレッジ



ロックバンドも加わって、夜の交歓パーティーは最高の盛り上がり

構です。お気軽にお寄せください。〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報室宣伝課「ヤマハニュース」係 ☎05383(2)1111 内線2356

秋冬の用品・パーツ商戦に先がけて

『第3回全国ヤマハ・パーツセールスマン会議』ひらく

ライダー用品は早くも秋、冬商戦を迎えようとしています。そうした中で、お客さまのニーズにしっかりと応え、販売店さまの用品・パーツ収益をさらに高めていただくことと、去る5月27日には、東京・品川のココロ会館に、全国から200名にのぼるパーツセールスマンを集め、『第3回全国ヤマハ・パーツセールスマン会議』が開かれました。



→'85-'86秋冬の用品・パーツ販売への方針を述べる高橋・用品事業部長

↓パーツセールスマンのパワーアップにと、TOCに関する特別講演も行なわれた



この会では、'85-'86秋・冬の営業活動政策の紹介、パーツマンの日頃のセールス活動の成功例報告など、もりだくさんの内容に、参加したパーツマンは、2日間みっちり取組んでいました。ご商売の中で急速にウエイトを高めている用品・パーツ販売。ヤマハの秋・冬商品にどうぞご期待ください。

新コースもオープンして 人気高めるフラット・ダートレース



ポーツランド

(ヤマハ中国株)広島県福山市郊外に、このほど日本で初めてのフラット・ダートレース場「加茂スポーツランド」(一周・3000m)がオープンしました。4月14日のオープン以来、ここでは50cc-125ccのノーマル車、改造車全8クラスのレースが、シリーズ戦として行なわれていますが、1戦ごとに参加者を増やす盛況ぶり。



教習車、コース、教室など浜浜自動車教習所さんの全面的な協力のもとに開かれたヤマハ九州の指導員養成研修会



リスボン市民の暮らしを守って活躍する ヤマハ・ポリスパイク

ポルトガルのヤマハ代理店・モトベカス社の前にずらり勢ぞろいしたXJ550。これは、このほど同社がリスボン警察に納入した36台のポリスパイクです。

モトベカス社では、これまでもXS650P、

XJ550P、XJ750Pなどヤマハの4サイクルスポーツ約80台を同警察に納入しており実績も十分。リスボンの警察官の足として活躍するヤマハスポーツには、市民からも大きな信頼が寄せられています。

フン害除去に新兵器、登場!



総数約900万匹。これは現在フランスに在る犬の数の、じつにフランス国民6人に1匹という割合。これら犬の汚物は街の歩道を汚し、歩くのに差しかえがでるほどの状況です。

各市町村では、この対策に頭を悩ませていましたが、このほど現地の業者が特別マシンを開発しました。トロトワネット（清潔な道）と名づけられたこのマシンは、ヤマハの4サイクルモデルX T 350をベースに汚物を吸い込むパイプと収納箱を装着したもの。

パリ、マルセイユ、リヨンなどで毎日歩道の清掃に活躍していますが、市民からの評判も上々。ある世論調査ではパリ市民の83%がこのバイクの有用性を認めているとか。それにしても、バイクの用途にもいろいろありますね。



福山市郊外の山林を切開いてつくられた、加茂ス

「フラットなショートコースなので一見単純そうですが、走っているとなかなか面白いですよ」とは常連ライダーの声。

モータースポーツの新しい仲間として、広島ではこの夏、フラットダートレースが静かなブームを呼びそうです。

なお、加茂スポーツランドのお問合わせは河上レーシングサービスマの会

(0849)9966へどうぞ。

スクーターに、スポーツに集まる人気! 恒例の大学生協フェア、今年も開催

〔ヤマハ東京機〕大学生協東京事業部が都内、近県の大学生を対象に毎年開催している、大学生協フェアが5月24日から5日間、東京・渋谷の生協会館で開催されました。

入学や進学など新しいキャンパス生活を始めた学生さんたちに、必要な生活用品を提供しようというこのフェアで、もうすっかりおなじみとなっているのがヤマハスクーターとスポーツバイクの展示即売です。

今年も通学をはじめとするキャンパスライフの足にスクーターをというギャルやヤング、夏休みまでにぜひスポーツバイクをという人たちが大にぎわい。トライ、ボクスン、FZ250フェーザー、SRX400など85ニューモデルがひととき人気を呼び、30件を越す成約を集めました。



↑アルバイトで夏休みまでには……というヤング

→こんなかわいいスクーターで通学したら……と女子大生さん



今年も盛況の大学生協フェア



全ヤマハマンの指導員資格取得をめざして養成研修会実施

〔ヤマハ九州機安全普及課〕ヤマハ九州機安全普及課ではさる5月12日、管内のヤマハマン23名を集め、安全運転指導員養成研修会を開きました。

現在、九州地方では70%のヤマハマンが指導員資格をもっていますが、この研修を通してヤマハマン全員の指導員資格取得を実現し、販売店さまを通じて地域の安全普及により一層力を入れていこうというのがその狙いです。当日は、福岡市内の姪浜自動車教習所さんの協力を得て、午前8時半から夕方4時すぎまで、座学に実技にと熱の入った研修が続けられました。

●'85世界選手権ロードレースシリーズ ローソン、YZR500 今季2勝目!

全12戦のシリーズも折り返し点の6戦を終了。注目の500ccクラスは、今年もE・ローソンとF・スペインサー、2人のアメリカンの一騎打ちの様相となってきた。



第6戦ユーゴGPは、6月16日、ユーゴスラビアのリジエカサーキット

に、5万人の観衆を集めて行なわれた。ローソンとスペインサーは、ともにスタートで出遅れたものの3周目にはトップのマモラに次いでスペインサー、ローソンと浮上。そして4周目には、ローソンがスペインサー、マモラを抜いてトップに進出。21周目にマモラがスペインサーを抜いて2位に返り咲くがその次の周に転倒。この激しい2位争いを尻目に、ローソンは余裕

の独走。結局2位スペインサーに21秒もの大差をつけて32周を終了した。

この結果、6戦までのポイント合計は、優勝2回、2位3回、4位1回のローソンが74点。優勝3回、2位3回のスペインサーが81点。

V2を狙うローソン、タイトル奪還に燃えるスペインサー、2人のヤングアメリカンの第7戦・オランダGP、アッセン以降に世界中が注目している。



今シーズンも「ステディ。エディ」は健在。コンスタントに上位入賞をつづけてV2を狙っている(写真は第4戦・イタリアGP、ムゲロで)

●'85全日本選手権ロードレースシリーズ "8時間耐久"への期待を高める 上野/FZR750の快走

8時間耐久レースの前哨戦として注目を集めた鈴鹿200キロレースで、FZR750と上野真一は、熟成度を一段と高めたみごとな走りを見せた。結果こそ転倒・リタイアに終わったものの8時間への期待を一気に高めている。また国際A級500ccクラスでは、ワイン・ガードナーに次いで平が2位。ランキングでも2位水谷に20ポイントの差をつけてV3にひた走っている。

全11戦にわたるシリーズも折り返し点を通過。第6戦は、6月9日、梅雨入りの鈴鹿サーキットで行なわ

れた。

この鈴鹿200キロレースは、7月28日に開催される世界選手権・鈴



プラクティスタイムも2分22秒台へ、確実な熟成度アップを見せ「8時間耐久」への期待を高めたFZR750と上野真一

鹿8時間耐久レースの前哨戦として注目を集めるもの。しかも、今年の8時間耐久レースには、キング・ケニー／平忠彦組も出場か!? の噂も流れ、例年になく注目度もアップした大会となった。

国際A/B級、TTFークラスが1周6キロのコース、34周に渡って熱戦を展開するこの200キロレースには、ヤマハファクトリーからFZR750を駆る上野真一が出場した。

予選3番手からスタートした上野は、W・ガードナー、八代俊二、喜多祥介らと激しいトップ争いを展開。再三にわたってトップに踊り出て会

場を湧かせた。結局、レースも中盤にさしかかった17周目のS字コーナーで無念にも転倒してしまったもののFZR750の急速な熟成ぶりを3万5千人の大観衆に見せつけた。

一方、国際A級500ccクラスでは、世界GP帰りの平忠彦が、3月のスズカ2&4レースの再現を思わせるW・ガードナーとの猛バトルを展開。8時間耐久のパートナー、キング・ケニーが見守る中で15周レースの14周目第1コーナーでは、トップを行くガードナーを抜き去って会場を湧かせた。結局2位に終わったもののその差はコンマ27秒という僅かなものであった。

●250cc級世界選手権モトクロスシリーズ J・ビモンド+YZ250改も ランキング首位で後半戦へ



250cc級世界選手権モトクロスシリーズも、6月16日のフランスGPで、全12戦中の7戦を終了した。ヤマハYZ250改で快調にランキングをリードするJ・ビモンドは地元フランスでのグランプリとあつ

て大ハッスル。両ヒート優勝でみごとファンの大声援に応えた。この結果ランキング・ポイントでも188ポイントと大きく前進。2位に浮上してきたKTMのドレッセルに32ポイントの大差をつけている。

●'85全日本選手権モトクロスシリーズ 急追! 光安鉄美+YZ250 今季2度目の総合優勝で首位も目前!



「先も見えてきた」と快調な光安。後半戦での追い込みが期待される

デッドヒートがつづく全日本選手権モトクロスシリーズも6月16日の四国大会で6戦を終了し、後半戦に突入した。

注目の国際A級250ccクラスでは、市販YZ250改の光安鉄美とチャンピオンS・マーチン、東福寺保雄の3名による、例年になく激しいランキング争いが展開されている。愛媛県松山市郊外の松山オートテックで開かれたこの第6戦でも、第1ヒート、スタートよくとび出した光安は、そのまま30分+2周をブツ切りで走り抜いて1位。つづく第2ヒートでは、スタートで出遅れたものの驚異的な追い込みをみせて3位でゴール。第2戦・熊本大会につづいて今季2度目の総合優勝をなしとげ、ランキングでも157ポイント、首位マーチンに7ポイント差まで迫ってきた。

●'85全日本選手権トライアルシリーズ 伊藤敦志、ランキングトップで折り返し!

全9戦が予定されている今年の全日本選手権トライアルシリーズは、6月2日の第5戦・関東大会で後半戦へと突入した。栃木県塩原郡の鶏頂山スキー場で行なわれたこの第5戦は、1周10+のロングコースに、12セクションが設けられ、7時間でこれを3ラップするというハードなもの。

TY350Rを駆る注目の伊藤敦志は、この大会でも健闘し、減点49、クリン13で確実に3位に入賞。

これによりランキングポイントも89と伸ばし、依然として首位の座を守りつづけている。



7月のレーシング カレンダー

- 7月7日
- 全日本ロードレース⑧ SUGO
- 全日本モトクロス⑦ 札幌・ルスツ高原
- ロードレースGP⑧ ヘルギー
- 125ccモトクロス⑧ 西ドイツ
- 四輪F2⑤ 鈴鹿
- 7月14日
- 500ccモトクロス⑨ イギリス
- 250ccモトクロス⑨ アメリカ
- 125ccモトクロス⑨ フィンランド
- 7月21日
- ▼全日本トライアル⑦ マウントレイスイ
- ロードレースGP⑨ フランス
- 250ccモトクロス⑩ オランダ
- 7月28日
- 世界耐久選手権③ 鈴鹿8時間 鈴鹿
- 125ccモトクロス⑩ ポルトガル

気合も十分、YZも快調、首位を完全に射撃圏内にとらえた。乗れる。光安に、シリーズ後半戦への期待が集まっている。

遊びのメニューの充実でスポーツバイク拡販を!

スポーツバイクのご商売を語る上で、欠かせないのが「遊び」の提供。いかに多くお客さまにバイクの楽しさを体験させて、充実したバイクライフを過ごしていただくかが、拡販のキメ手となります。

そこで今回は、この季節に最もふさわしい「スポーツバイク拡販策」についてお話ししましょう。季節は夏、ツーリング・シーズンの最盛期を迎えています。皆さまのお店でも、ぜひオリジナルな「遊び」のメニューをお揃えいただき、スポーツバイク需要の拡大に尽力ください。

以下にご紹介するのは、3つのスポーツバイク拡販のセール展開例です。それぞれの市場特性に合わせたアプローチをお選びいただき、お店独自のアレンジで他店との差別化をお図りください。

①イベントを利用したセールス・アプローチ
 【例】ヤマハ・サマーフェスティバル
 文字通り、真夏の恒例イベント「サマーフェスティバル」を利用したセール展開策。ヤマハショップは商品を売るだけでなく、

バイクの楽しみ方も提供しているお店であることを強調。お店のイメージアップを図るとともに、その中で代替促進やモータースポーツ活動への勧誘、さらにYESSスタップの募集を展開する。

②テーマを設定したセールス・アプローチ
 【例】オフロードバイク祭り
 オフロードの楽しさを徹底的にうたいあげ、オフロードバイクの拡販を図るセール展開策。店頭の一部もしくは期間を決めて店頭すべてをオフロードコーナーとし、オフロードバイクとオフロード関連用品で、オフロードのイメージを演出。セール期間中にはオフロードランを楽しむツーリング等も開催して話題作りを行なう。オフロードバイクに関するビデオや雑誌、書籍、ポスター等も揃えるなどの演出も効果的。

③ツーリングを利用したセールス・アプローチ
 【例】SRX体験試乗ツーリング
 SRXのデモカーを用意して日帰りコースのツーリングを企画。自動二輪の車検を間近に控えたお客さまや、日頃SRXに関心を抱く



お客さまをメインにツーリング参加を呼びかける。そして、ツーリング途上でそれぞれのお客さまに交替でSRXを試乗させて、その

ツーリングを伝える。スタッフに余裕がある場合はその模様をビデオに収録して後日お店で放映、商談に結びつけるとともにオリジナル版の店頭PRビデオとして活用する。

※企画の実施にあたっては、担当セールスにご相談ください。

SERVICE



ヤマハ標準整備工数表の適正サービスで信頼度UP!

ヤマハ標準整備工数表

日頃、整備にたずさわられている皆さまに、適正な整備時間や工数を認識していただき、お店での整備所要時間の指数と正しい整備料金設定の参考にしていただくために、「ヤマハ標準整備工数表」を作成しました。

今回、作成したのは、①スクーター・ビジネス編、②2サイクルスポーツ・トレール編、③4サイクルスポーツ・トレール編の3冊。対象モデルは、'84年および'85年モデル(トライ、ボクソン、SRX400/600まで)。

価格は各300円です。お店に1セットぜひお揃えください。

- スクーター・ビジネス編
注文ナンバー/326501
- 2サイクルスポーツ・トレール編
注文ナンバー/326502
- 4サイクルスポーツ・トレール編
注文ナンバー/326503

※詳しくは、最寄りのヤマハ特約店・販売会社の営業技術課までお問合せください。

SALES

お揃えください/
'85サービスマニュアル

各機種モデルチェンジ、マイナーチェンジに伴ない、サービスマニュアルを改訂または補足しております。皆さまのお店にもぜひ1冊お揃えください。

○RZ125補足版(IGV-28197-05)	注文No.321087	¥900
○CH50補足版(IGJ-28197-05)	注文No.321088	¥800
○CJ50E補足版(IJX-28197-05)	注文No.321089	¥800
○XT250T補足版(48Y-28197-05)	注文No.321090	¥800

'85ヤマハ技術講習会(8月~9月)

9/4(水)	6(金)	電装(全国募集)
9/11(水)	13(金)	4 DOHC
9/18(火)	20(木)	4 DOHC
9/25(火)	27(木)	4 DOHC
9/26(木)	28(土)	2 2気筒
9/27(金)	29(日)	2 2気筒
9/28(土)	30(日)	2 単気筒
9/29(日)	31(月)	2 単気筒
9/30(月)	1(火)	4 DOHC
10/1(火)	2(水)	4 DOHC
10/2(水)	3(木)	4 DOHC
10/3(木)	4(金)	4 DOHC
10/4(金)	5(土)	4 DOHC
10/5(土)	6(日)	4 DOHC
10/6(日)	7(月)	4 DOHC
10/7(月)	8(火)	4 DOHC
10/8(火)	9(水)	4 DOHC
10/9(水)	10(木)	4 DOHC
10/10(木)	11(金)	4 DOHC
10/11(金)	12(土)	4 DOHC
10/12(土)	13(日)	4 DOHC
10/13(日)	14(月)	4 DOHC
10/14(月)	15(火)	4 DOHC
10/15(火)	16(水)	4 DOHC
10/16(水)	17(木)	4 DOHC
10/17(木)	18(金)	4 DOHC
10/18(金)	19(土)	4 DOHC
10/19(土)	20(日)	4 DOHC
10/20(日)	21(月)	4 DOHC
10/21(月)	22(火)	4 DOHC
10/22(火)	23(水)	4 DOHC
10/23(水)	24(木)	4 DOHC
10/24(木)	25(金)	4 DOHC
10/25(金)	26(土)	4 DOHC
10/26(土)	27(日)	4 DOHC
10/27(日)	28(月)	4 DOHC
10/28(月)	29(火)	4 DOHC
10/29(火)	30(水)	4 DOHC
10/30(水)	31(木)	4 DOHC
10/31(木)	1(金)	4 DOHC



●'85ヤマハライダーポスター

ロードレース、モトクロス、トライアルの臨場感あふれるポスター。'85ヤマハワークスライダーの平忠彦(B全サイズ)をはじめ、江崎正(B2サイズ・以下同)、上野真一、光安鉄美、伊藤敦志の5種類を用意。スポーツバイクの購入プレミアム等にどうぞ。

●YESSツーリングノート

ツーリングのデータ&マップを記録できるB5サイズのオリジナルノート。トラブルシューティングや救急処置法、バイク119番システム、YESSショップリスト等も掲載。お客様のMAPをコピーしてお店に保管、情報ツールとしても活用可能。価格350円。



●YESSポーチ

ちょっとした小物や高速道路の通行券が入る便利なポーチ。使い方は、腕、腰、足の3通りに取り付け可能。価格1,900円。



●'85モータースポーツビデオカタログII=④

日本のヤマハ海外レース活動ビデオを紹介したビデオカタログ。オープニングにはFZ400Rのデモンストレーションテープ、エンディングには、RZV500Rのイタリア取材テープを収めてあり、店頭PR用ビデオとしても活用可能。時間45分。価格2,000円と格安。



●YESSポロシャツ

YESSのイメージカラーでおなじみの黄色地に、黒のYESSロゴも鮮やかなオシャレなポロシャツ。YESSスタッフのユニフォームとしておすすめください。価格3,500円。

※詳細は、担当セールスにおたずねください。

すべての皆さまにYESSルール

夏恒例の安全運転推進活動「二輪車安全運転推進月間活動」が、この7月10日よりスタートします。皆さまのお店でもこの活動に呼応して、あらゆる場面で安全運転啓蒙をお図りください。

『'85二輪車安全運転推進月間運動』開始！

『'85二輪車安全運転推進月間運動』実施要項(概略)

- 目的 / 二輪車を利用する人の安全を確保して、二輪車による交通事故および公害を減少する。
- 期間 / 85年7月10日(水)～8月9日(金)
- 指導 / 警察庁・総務庁・運輸省・文部省
- 主催 / 財団法人二輪車安全普及協会
- 重点事項推進要領 / (1)店頭個別安全指導を通じて

- ①「思いやり運動」の普及徹底
 - ②「ワンポイントアドバイス運動」の強調
 - ③原付技能講習の100パーセント受講
 - (2)街頭指導、集団講習等を通じて
 - ①高校における交通安全に対する協力
 - ②職域、地域等に対する交通安全の協力
 - ③街頭指導に対する協力
 以上
- ※詳細は、最寄りの(社)二輪車安全普及協会もしくはヤマハ販売会社の安全普及課までお問合せください。

お客さま一人ひとりに安全運転の啓蒙を図ろう！



ツーリングは、いつも満足度100% のびのびとバイクで遊ぶ仲間たち。

明るい女性社長・加藤幸子さんの人柄そのままのように明るいスペースライダーズクラブのみなさん。バイクは遊びの道具、そんな自由な雰囲気、とんとんと遊びの世界を広げています。



加藤幸子社長（中央）の明るさが、お店にもクラブにも反映している「スペース。さん。左はセールスとサービス担当の息子さんジャン君。右はスウェーデン出身のご主人スペン・ダールバーグさん。ご主人は、外洋航路船の通信技師とあって、お店にはノータッチ

スペースライダーズクラブ

（有）ヤマハスペース・加藤幸子社長・名古屋市中区本郷2-59



●ツーリングとパーティが大好きな仲間たち

（有）ヤマハスペースさんは、お客さまの間から生まれたユニークなお店です。

お店の前身はアイキシーバンドの入ったライブ喫茶。そこに集まっていた常連のお客さまを中心に、お店はいつしかバイクショップに変身。お客さまも気がついたら音楽マニアからバイクマニアへ……というわけです。今でも店内にはU字形の喫茶カウンターが設けられ、ここでクラブ員同志のなごやかな交流がくりひろげられています。

こうご紹介すれば、お店のクラブ「スペースライダーズクラブ」の雰囲気もおのずとおわかりいただけるでしょう。

ちょうど2年前の7月1日、お店のオープンと同時に「月に1回みんな集まって顔を合わせよう」と誰からともなく声が上がって誕生しました。当時の会員は15名。2年間で65名にも増えています。年令も18才から60才まで、そしてメンバーのほとんどがY.E.S.S.のスタッフ会員でもあります。

「クラブ員同志のつながりは最高ですね。だからツーリング先でのパーベキューパーティなんて大盛況。昨年のクリスマスには、全員パーティナー同伴でパーティをやったんですよ。普段の皮ツナギを一張羅のタキシードやスーツに着替えてね。100名も集まりました。そういえば、うちのクラブはパーティ大好き……」と笑う加藤幸子社長。

事実、毎月第2または第3日曜日の定例ツーリングのほかに、こうしたさまざまな形のパーティも「スペースライダーズ」クラブの定例活動として、クラブ員の間根づいてしまっているようです。





●本場に満足できるツーリングを

定例ツーリングには、1回平均15名程度が参加。1日で300キロほど走ります。ツーリングが近づく、店内のYESSボードに日時、目的地、コースが掲示され、そこに参加希望者がサインをしていくという具合。

1回のツーリング毎に2000円の会費を徴収していますが、これはすべて昼食代、コーヒー代、有料道路料金などに当てられています。

「ツーリングで一番気を使っているのは、行った人が本場に100%満足して帰ってこられるかどうかということですね。満足感はないも長距離をギンギンに走るといふことじゃないんです。自然とのふれあいや、その土地の風物や人との出会いとかそんなことも含めて、本場にツーリング・旅を楽しめるようにということです。ですから高速道路よりも一般道路を走ることの方が多し、時には朝7時に出発して午前中に帰ってしまうようなツーリングもあります。それでも内容があれば十分に楽しい。混雑した観光地の午後の道を無理して、ただ走っているも仕方ありませんね。」

もちろん、「走り足りない」という元気な若い子もいますよ。そんな人は、ツーリングから帰って、また林道に出かけたり、モトクロッサで走ったりしています」と加藤社長。

●さあ、7月は大挙してフィスコへ!

「面白そうだな」ということには、なんでもみんな参加して、存分に楽しんでこようという、スベスライダーズのみなさん。バイクそのものに熱中するというよりも、バイクで遊ぶことに長けた人たちの集まりともいえそうです。

「ええ、そういう意味ではクラブもいい形で動いていると思います。最近ではオンロードのお客さまが、オフロードバイクを購入されて走りに行ったりと、いろいろ遊びの世界を広げていらつしやるのでね、クラブとしてもそんな人たちに応援したいと思っています」

4月の「YESS・バイクビレッジ・イン箱根」には16名も参加。一番にぎやかに楽しんだ。スベスライダーズクラブのみなさん、7月21日には、富士スピードウェイでのサマーフェスティバルにもっと大挙して参加します」とハリキっています。



オンからオフまで、 楽しさをきっちり教えて、お客さまを増やす！

株モーターサイクル・ドクター 須田 / 須田高正社長

東京都町田市小川1725-11 電話 0427(96)4121

「トレール市場は沈滞気味だね」などおっしゃる販売店さんにぜひご紹介したいのが、今月お訪ねした「ドクター 須田」さん。ツーリングやF3ロードレース活動で、ロードスポーツのお客さまを増やしなから、同時にしっかりとビジョンを持って、オフロードユーザーの育成も進められています。



お客さまの夏休みを目前に控えて、山梨県にオープンしたベースキャンプの利用計画を語りあう須田高正社長（右端）とお店のスタッフ



●雑誌広告、チラシ配布2年間ゼロでも 着実に広がるお客さまの輪

東京のベッドタウン・町田市の町田街道沿でご商売する「株モーターサイクル・ドクター 須田」さんは、8割がスポーツバイクのお客さま。その多くはロードスポーツユーザーです。そして3500名を数えるお客さま名簿の内訳も横浜、川崎、相模原、立川といった周辺都市から遠く都内の品川、練馬、足立といった地域にまで及び、ご商売の幅広さを物語っています。

しかも、こうしたお客さまの拡大が、ここ2年間、専門誌広告やチラシ配布は1度もなしで達成されたというのですから驚きです。「結局はお客さまとのコミュニケーションづくりに成功しているのだと思います。ゆったりにくつろいでいただけるシヨールームができたこと。そして、ここからお客さまのニーズを吸収し、お客さまが一番求めているようなスポーツ活動を実施していること。加えて、半徑500キロ以内ならどんなトラブルでも即対応できるようなアフターサービス態勢をつくってきたこと……この3本柱が本当にうまく噛み合ってお客さまと店のパイプを太くし、紹介販売へと結びついているんですね」というのが須田社長の分析。そして、毎月1回の定例ツーリングと富士スピードウェイ、筑波サーキットでのサーキット走行会、さらに「鈴鹿8時間耐久レース観戦ツアー」「ドクター 須田」さんのスポーツ活動です。

●ちょっとしたキッカケの提供で トレールファンも確実に広がる

しかし、お客さまのニーズの変化をしつ

りと読みとる須田社長の眼力と、その企画力を何よりもよく表わしているのは、以下にご紹介するトレールモデルの拡販活動だと言えるでしょう。

ご承知のとおり、スポーツバイク市場はロードスポーツ全盛。中には「いまは売れるオンロード車に全力投入。何も苦勞してまでトレールを売らなくても……」という声さえ聞かれるほどですが、須田社長は「こんな時だからこそ、トレールの魅力をお客さまに伝えたい。オンロード派のお客さまにオフロードの楽しさを教えて、その輪を広げるチャンスなんです」と意欲的な取組みをみせています。

「キッカケを作ってあげて、後の面倒を見てあげられればオフロードのお客さまは必ず増えるんですね。店としても売れているロードスポーツにプラスアルファの売上げになるんですから放ってはおけません。」

お客さまを見ていると、1人でオフロードを始めるには自信がない、おまけに店頭で展示車にまたがってみるとシートが高すぎて足が着かない……：すぐにあきらめてしまうんです。そんな中で、ロードスポーツの子が1人「社長も乗って一緒に走ってくれるんなら僕も買うよ」というんです。これダツ！と思つてさっそく私もDT125を降ろしてお客さまと一緒に走り始めたんです。

YDS2の時代から10年間もモトクロスに親しんだ須田社長の経験が、ここで再び活かされることになった訳ですが、折しも春のロードバイクシーズンと重なって、トレールモデルの販売は快調。4月、5月と10数台ずつ販売し、取材におじゃました時には「展示車もない」という状況。それにつれてヘルメット、グローブ、トレーナー、パンツ、ブ



↑ショーウィンド感覚で気軽に腰かけられる商談コーナー
↓「家に帰る前に必ず立寄りて行くお客さまもいる」という、ゆったりとしたショールーム。この日オフロードバイクは、在庫なし。オフロード用品も売れ行き好調

'85 YAMAHA
サマ-フェスティバル in FISCO
時 7/20(土)21(日)
入場料 一般 ¥2000-
Yess29-7 ¥1500-
(20歳以下は半額) (小学生以下は無料)
走行料 土・日 ¥1500- (20分)
土・日 ¥2000- (30分)
※土・日・月曜は2倍!!
走行時間 20分(土) 3:00-3:20 10分(日) 21日(日) 11:00-11:20 10分(土・日)
先着30分先着!!

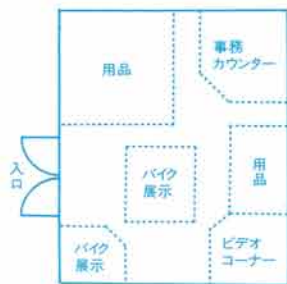
'85 FISCO 走会
定員50名
5/9(日) 10:00-11:00
6/4(日) 11:00-12:00
15:00-16:00
85年6月 走会のお知らせ
日時: 6月7日(日)
出席: 8:00 AM
会場: 河口湖方面

↑サマ-フェスティバル、YESSイベントからお店の定例ツーリングまで、活発なスポーツ活動は、手書きポスターで告知
←ベースキャンプを中心とした林道マップも店内に掲示してオフロードへの関心を高めている

用品コーナーの一角に設けたビデオコーナー。遊びに来るお客さまが増え、「これだけでもコミュニケーションはぐんと深まる」とか



「お客さまとの信頼関係は、ちょっとした気配りから。「トラブルがあったらコレクトコールで電話ください」と納車時には必ずいいます」と女性ならではの心づかいで人気の奥さま澄子さんと須田社長



「須田」さんのオフロードの輪は、こうしていま急ピッチで拡大しているところですよ。

「一坪坪の中に800メートルのオフロードコースを作り、古いトレール車を10台用意してあります。月に1〜2度、1回5〜6人のお客さまが声をかけあって走りに行っています。園内には家庭菜園の楽しめる畑や、宿泊可能な農家もあるんですよ。」
お客さまの使い方は、途中林道ツーリングを楽しみながら出かけて行ってコースを走って遊んだり、家族を連れて四輪で出かけて行ってオフロードランを楽しんだり畑仕事を楽しんだり……いろいろ。でもかなり良い方向で使われているようで喜んでます。

この施設を、うちのお客さまというより、バイクファン育成の場として長くつづけていきたいですね。それだけに、1番気をつけているのは、地元の人たちとの調和。だからクロズドのコースですけれどモトクロッサーはご遠慮願っていますし、地元で調達できるものは極力地元で購入するようにしています」
昔バイクに乗っていたアダルトが再びトレールバイクに乗り始めた、ロードスポーツのお客さまがオフロードの魅力にめぎめて両方を楽しむようになった、250cc 4サイクルトレールのお客さまが走りを楽しむためにDT125を……と、さまざまですが、「ドクタ

「やがては田舎で野菜でも作りながら暮せたら……」と山梨県の山村に土地を購入していた須田社長は、お客さまの声にこたえてさつきここを開放。バイクファンから一般ファミリーまでみんなで楽しめる。遊びのためのベースキャンプ」としてオープンさせたのです。

こうして須田社長の狙いは、お客さまのニーズとぴったりと合致してしつかりと実を結んだのです。そのうち、そんなお客さまの中から「思いっ切り走れる場所が欲しい。自分たちのベースキャンプになるような場があれば……」という声が沸きあがってきました。

「1万坪のベースキャンプもオープン」

『85スプリング&サマー・ライディングウェア』ユーザー・アンケート分析

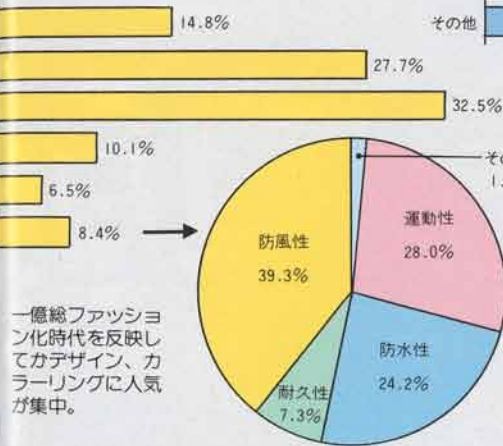
サンプル数=292

購入比率



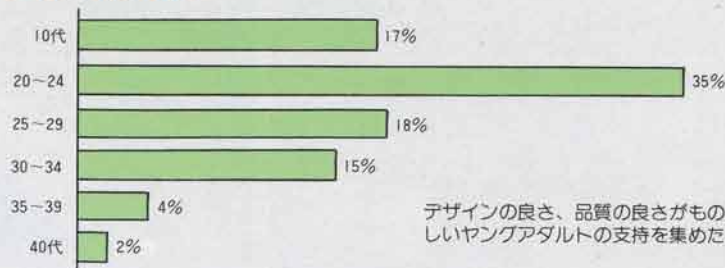
例年に比べて女性の比率が高かったのも今年の特徴。

●優性要因(複数回答)



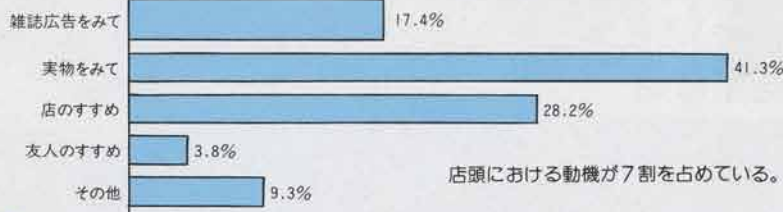
一億総ファッション化時代を反映してデザイン、カラーリングに人気が集まる。

●年齢別購入比率



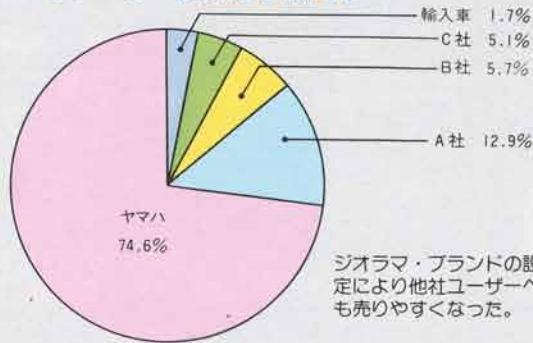
デザインの良さ、品質の良さがもの選びに献しいヤングアダルトの支持を集めた。

●購入動機(複数回答あり)



店頭における動機が7割を占めている。

●メーカー別所有2輪比率



ジオラマ・ブランドの設定により他社ユーザーへも売りやすくなった。

『85スプリング&サマー・ライディングウェア』のユーザー・アンケート分析

あなたのお店ではいかがでしたか?

この春、新発売して好評の『85スプリング&サマー・ライディングウェア』のユーザー・アンケートをもとにしたデータ分析がまとまりましたのでご紹介しましょう。圧倒的にヤングアダルトに支持された中で、結論として言えることは、良いものは実際にその目で確かめることが一番ということ。皆さまのお店の販売にも、ぜひご参考にしてください。



■ここが違う!ヤマハ・グッズ

頻繁なシフトワークを軽快に!

ヤマハガエルネレーシングブーツ

ライダウェアの中でも、最もオートバイと接点が求められるのがブーツといえます。それだけにライダーにとってブーツの選択は、非常に大きな意味を持っているのです。そこで今回は、レーシングブーツについてのお話をしましょう。

いちがいにレーシングブーツといっても、種類はさまざまです。例えば、本格的にレースをめざすライダーにとっては、極端な前傾姿勢を常とするためあらかじめ足首に角度がつけられたものであるとか、クツ底はどの位置でもステップを踏めるようにフラットな平底タイプのものがあるとか、逆に、レーシータイプのオートバイには乗っているものの競技とは無縁のライダー(実はこの人たちがいちばん多いわけですが)にとっては、全体に柔らかな皮で作られシフトチェンジもやりやすく、雨風に強く快適性の優れているものが歓迎されているようです。

ようするに、ブーツも履く人とその目的によって選択基準が違ってくるということ。したがってご販売の場面では、まずお客さまのオートバイの使い方をうかがい、それに適した機能を持ったブーツをおすすめることが、絶対条件といえそうです。

ここに紹介する『ヤマハガエルネレーシングブーツ』は、本格機能を備えたレーシングブーツですが、素材(良質牛皮)の柔らかさと本場イタリアならではの美しいカットが自慢。雨中の走行でも滑りにくいカットを施したクツ底や、インサイドチャックをカバーしたベルクロテープ付きのカバーは、多くのツーリングファンの間で好評を得ています。

ヤマハガエルネレーシングブーツ

●素材/良質牛皮 ●カラー/ブラック&レッド、レッド&ネイビー、ネイビー&サックス ●サイズ/22・0 cm / 27・5 cm まで 0・5 cm 単位で 12 サイズ ●価格/28,000円。



●ブラック&レッド

●レッド&ネイビー

●ネイビー&サックス

●アウトサイドに鮮やかに光るガエルネ・ロゴ



YL504レーシンググローブGR-1

●カラー/ネイビー&ホワイト、レッド&ホワイト、サックス&ホワイト●サイズ/M、L●価格/9,800円。

YL602ヤマハレーシングブーツ

●カラー/ブルー&ダークブルー●サイズ/24.0cm~27.0cmまで0.5cm単位で7サイズ●価格/29,000円。



YL601ヤマハレーシングブーツ

●カラー/レッド&ブラック●サイズ/24.0cm~27.0cmまで0.5cm単位で7サイズ●価格/29,000円。

YL318ヤマハツーリングスーツ

●カラー/ネイビー&ホワイト、ブラック&ホワイト、レッド&ホワイト●サイズ/M、L、LL●価格/125,000円。



ボーナス時にトータルコーディネートで用品の拡販を展開しましょう!

話題のコーナー

●男女別

着心地	★★★★★
カラーリング	★★★★★
デザイン	★★★★★
品質	★★★★★
価格	★★★★★
機能性	★★★★★

季節は夏、ボーナス・シーズンの到来です。そこでこの機会に、ツーリングファンのお客さまに、レザーウェアのトータルコーディネートをおすすめしてはいかがでしょうか。

レーザースーツは、オーソドックスなデザインの中にシャレたセンスをちりばめた「YL318ヤマハツーリングスーツ」。良質牛皮にナイロンメッシュの裏地を使用したこのスーツは、着脱容易なセパレートタイプ。ライディングフォームに対応した立体裁断により、あらゆる体の動きにフィットし、腰部のシャワーリングが激しい走りにもホールド感を高めま

す。そしてグローブは、手に優しい仔牛皮を使用した「YL504レーシンググローブGR-1」。ロードレース用に新しく開発したニューカットイング「スーパーソリッドメソッド」の採用で、優れたグリップ感覚を与えてくれます。

最後は足許を固めるブーツですが、こちらはスーツに合わせて「YL601ヤマハレーシングブーツ」と「YL602ヤマハレーシングブーツ」がおすすすめ。良質牛皮を使用した快適な履き心地のヤマハレーシングブーツはお客さまのツーリングをいっそう楽しいものにするはず

です。本格的なツーリングシーズンを迎え、スポーツバイクのお客さまの来店機会も多くなっていることでしょう。皆さまのお店にもぜひこの機会にレザーウェアコーナーを設けて、レザーウェアの拡販をお図りください。

インフォメーション

ヤマハ4サイクルオイル『FX』20缶 新発売!



スポーツバイクユーザーの実状をみると、オイル点検・交換は、自分で行なうケースが40~60%、購入先の販売店まで行なうケースが30~40%といわれ、販売店さまの業務用としての消費量はまだまだ大きな割合を占めています。そこで、本年4月に発売して好評のヤマハ4サイクルオイル『FX』につきましても、このほど新たに20缶を発売することになりました。皆さまのお店でも、ぜひ、ご活用ください。

●発売開始/7月1日

活用ください! ヤマハ紙袋・3タイプ

ヤマハMCライダー用品の商売にお使いいただける紙袋を用意しました。紙袋のタイプは、大、中、小の3タイプ。皆さまのお店にもぜひお揃えいただき、ご商売にご活用ください。

- 大(500×400×160mm) 1130円
- 中(398×315×115mm) 75円
- 小(380×200×70mm) 45円



●雨風をさえぎるインサイドチャックのベルクロテープ付きカバー

●シフトの接地面を広くとって、なおかつ滑りにくくカットされたクツ底

